

出石藩

御用部屋日記

元治

二

年

一

月

出石町公民館蔵

元治二己丑年

日記

兼作

正月六

新

日



元日 都本錦旗

一 六本時極想出住

一 稻荷諸杉秋系

一 聖天下山

一 石介朋 沖代信相親

但清殿中分表年

一 沖泉極 沖目骨後何

沖泉極 沖目骨後何

一 同清用給

年終

沖小極頭

沖用

古田表

一 上之極方 表頭

一 清山書院抄 同信目月

同信目月以下及人

清中心

編

年類目錄卷之二

浙西

敬振

年類目錄卷之二

一 本書院

年類目錄卷之二

年類目錄卷之二

年類目錄卷之二

一 左

月人

年類目錄卷之二

年類目錄卷之二

年類目錄卷之二

年類目錄卷之二

年類目錄卷之二



一本在... 自... 後

然後... 收... 之... 於... 物... 以... 有... 收...  
只... 卷... 之... 後... 在... 前... 亦... 是... 之... 亦... 甚... 為... 所... 欲...  
... 中... 用... 之... 亦... 甚... 為... 所... 欲...  
... 中... 用... 之... 亦... 甚... 為... 所... 欲...  
... 中... 用... 之... 亦... 甚... 為... 所... 欲...

去... 日... 在... 矣

崇... 川... 樓... 閣... 書

右... 卷... 之... 後

伏... 在... 閣... 後

一... 指... 中... 用... 之... 亦... 甚... 為... 所... 欲...  
... 中... 用... 之... 亦... 甚... 為... 所... 欲...  
... 中... 用... 之... 亦... 甚... 為... 所... 欲...

致... 謝... 書

干... 綱... 一... 折... 索... 竹... 海

右... 未... 須... 以... 使... 者... 在... 前...  
... 與... 衆... 所... 見... 是... 所...  
... 書... 之... 亦... 甚... 為... 所... 欲...

二日

一日

一 津奥村、津日首尾河に於て、其の古蹟を

岩屋敷と云ふ

津奥村

津奥村の古蹟

古蹟の遺

一 津奥村の古蹟、其の古蹟を

一 相模川に於て、其の古蹟を

岩屋敷と云ふ

一 津奥村の古蹟、其の古蹟を

岩屋敷と云ふ

一 津奥村の古蹟、其の古蹟を

岩屋敷と云ふ

一 津奥村の古蹟、其の古蹟を

岩屋敷と云ふ

一 津奥村の古蹟、其の古蹟を

岩屋敷と云ふ

岩屋

一 存心切法... 總收...

法身人

由級... 功... 日...

引... 廣...

口...

右... 功... 精...

神田...

神田...

本...

神田...

右... 功... 回...



八日

一 望家... 夜... 舟... 月... 窗... 竹... 別...

翠江

一 冲具... 梳...

冲... 月... 窗... 竹... 别...

一 个... 日... 夜... 舟... 月... 窗... 竹... 别...

美年... 子... 年... 是

荒... 不... 賴... 母

武... 年... 是

美... 年... 子... 年... 是

香... 竹... 子... 年... 是

武... 年... 是

仙... 石... 荒... 光... 无

子... 年... 是

香... 竹... 子... 年... 是

一 月... 日... 皆... 勤... 懈... 忘... 書... 尺... 通

美... 年... 子... 年... 是

竹... 村... 十... 年... 是

武... 年... 是

咸豐六年

漢口

咸豐七年

大日

咸豐八年

荒木

一、  
咸豐八年  
咸豐九年

咸豐十年

咸豐十一年

咸豐十二年

咸豐十三年

咸豐十四年

咸豐十五年

咸豐十六年

六日

中華一月來事  
中一  
中一  
中一

一 濟北地極廣... 進...

一 濟東地極廣... 進...

一 濟西地極廣... 進...

但中... 濟...

一 濟南地極廣... 進...

一 濟北地極廣... 進...

一 濟東地極廣... 進...

一 濟西地極廣... 進...







仁丹左書  
仁丹左書

仁丹左書

仁丹左書

仁丹左書

仁丹左書

仁丹左書



一休日

一在東京の山崎屋敷に於て静かに居る

一常盤屋敷に於て

一行村中を巡る

一休日

一休日

一休日

石道に於て静かに居る

一休日

一休日

一休日

一休日

一休日

一休日

一休日

一休日

一休日





十一日

一 信口

一 沛身入格

沛身入格

沛身入格

沛身入格

進路

四月廿五日

例年通り浦津線に乗り換えて海へ

一 浦津線に乗り換えて海へ 城を沖波

一 大田川に用事ありて浦津線より海へ

浦津線より海へ

浦津線

浦津線より海へ

一 大田川に用事ありて浦津線より海へ

浦津線より海へ

浦津線より海へ

中村

一 浦津線より海へ

浦津線より海へ

浦津線より海へ

浦津線より海へ

浦津線より海へ

浦津線より海へ

十一月

浦津線より海へ

浦津線より海へ

浦津線より海へ

仙石清及の書

孝向中一帯都り為成并一  
九門ゆり為清田下足是号之由所為重  
事の為

関白殿上命の侍 奏流 尊少少

十二月

仙石清及の書

右舟左通 仙石清及の書

今般於系於表杉平御事殿公別為  
仰付之旨に轉上申國情上増人教土辰

因少信公の書 仙石清及の書

十二月

仙石

仙石清及の書 仙石清及の書

仙石清及の書 仙石清及の書

仙石清及の書 仙石清及の書

仙石清及の書

市井雜記

市井雜記

書士

四人

士

一人

少

一人

力

一人

中

一人

中人

書士

一人

書士

一人

書士

一人

少

一人

書士

一人

書士

一人

書士

一人

市井雜記

書士

書士

Handwritten notes on the right side of the page, including a large character '心' and other illegible characters.

西山 尾花

西川 半道

相本 邦

中川 妙助

堀田 政女

中野 高徳

平尾 用使

安原 三太郎

多田 隆太郎

石井 隆太郎

中野 高徳

Handwritten text on the left side, top section.

Handwritten text on the left side, middle section.

Handwritten text on the left side, bottom section.



十二月廿五日

稻原彦

一

此後... 稻原彦

一 庄通

池田世洋方

池田世洋方

池田世洋方

河野重吉

河野重吉

一 庄通

池田世洋方

池田世洋方

池田世洋方

河野重吉

河野重吉

池田世洋方

河野重吉

池田世洋方

河野重吉



廣州府知府  
李之鼎

可

二月通

奉  
二月通

二月十二日 抄 恩 福 集

卷八

去年年万石以上半之角 家族  
必色 行 有 月 印 信 人 自 固 下 出  
女 関 所 着 而 通 以 及 方 之 後 簡 易  
中 心 的 改 作 了 自 己

有 通 因 而 着 中 心 的 改 作 了 自 己  
中 心 的 改 作 了 自 己

三月

二月十六日 抄 集

卷

百 卷 之 一 回 之 最 美 妙 的 合 本 以 罕 见 的 数  
另 外 金 以 家 族 之 故 事 人 数 亦 及 其 多 也  
去年年万石以上半之角 家族  
必色 行 有 月 印 信 人 自 固 下 出  
女 関 所 着 而 通 以 及 方 之 後 简 易  
中 心 的 改 作 了 自 己

右 卷 之 一 回 之 最 美 妙 的 合 本 以 罕 见 的 数

河津集後

十二月十七日

一橋殿  
御書但馬守

大目付

御書但馬守

御書但馬守

御書但馬守

御書但馬守

御書但馬守

御書但馬守

御書但馬守

御書但馬守

御書但馬守

十二月十八日

御書但馬守

御書但馬守

御書但馬守

十二月十七日

御書但馬守

御書但馬守

御書但馬守

御書但馬守

御書但馬守

御書但馬守

十二月十七日

御書但馬守



天  
地  
人  
三  
才  
一  
道

用  
無  
極  
之  
道  
以  
觀  
萬  
物  
之  
變  
化

多  
少  
不  
定  
之  
數

以  
心  
之  
靈  
明  
而  
觀  
萬  
物  
之  
變  
化

以  
氣  
之  
清  
濁  
而  
觀  
萬  
物  
之  
變  
化

以  
神  
之  
虛  
實  
而  
觀  
萬  
物  
之  
變  
化

以  
精  
之  
微  
細  
而  
觀  
萬  
物  
之  
變  
化

古  
之  
聖  
人  
以  
此  
道  
而  
觀  
萬  
物  
之  
變  
化

今  
之  
聖  
人  
以  
此  
道  
而  
觀  
萬  
物  
之  
變  
化

天  
地  
人  
三  
才  
一  
道

天  
地  
人  
三  
才  
一  
道

Handwritten notes on the right side of the top section.

三月廿二日

Handwritten notes below the date.

Handwritten notes below the previous line.

Handwritten notes below the previous line.

Handwritten notes on the left side of the top section.

三月廿二日

Handwritten notes below the date.

Handwritten notes below the previous line.

Handwritten notes below the previous line.

Handwritten notes on the left side of the top section.

Handwritten notes below the previous line.

Handwritten notes on the right side of the bottom section.

Handwritten notes below the previous line.

三月廿二日

Handwritten notes below the date.

Handwritten notes below the previous line.

清真指仙仙相也

二(白)

休白

清真指仙仙相也

清真指仙仙相也

... ..

六二日

一 休日

一 津真板 津真板は津真板は津真板は津真板は津真板は

子名

一 今朝津真板は津真板は津真板は津真板は津真板は

井上真希子  
後日...

西の国へ  
井上真希子

川原

有る... ..  
津真板は津真板は津真板は津真板は津真板は

... ..

十月十四日

一 体目

一 冲集原上冲回自念后何以林地列在

一 左之在官界之古

冲回原上

冲回原上

在

荒木前为

伴田野为

西山年为

西山年为

西山年为

若

根地年为

河地年为

若 根在

冲回原上

冲回原上

冲回原上

冲回原上

今所集年

... ..

冲... ..

... ..

卷之二

一 目

卷之二 目録

一 例別定

一 沖泉原の沖目骨の復得に關して

一 沖泉原の沖目骨

一 沖泉原の沖目骨の復得に關して

一 沖泉原の沖目骨

一 沖泉原の沖目骨

一

二

一 沖泉原の沖目骨

一 沖泉原の沖目骨

沖泉原の沖目骨

沖泉原の沖目骨

沖泉原の沖目骨

沖泉原の沖目骨

沖泉原の沖目骨

沖泉原の沖目骨

沖泉原の沖目骨

沖泉原の沖目骨の復得に關して

沖泉原の沖目骨の復得に關して



山坂ノ段

平切定

若儀年中ノ山坂ノ段ハ精細ナレ  
山坂ノ段ニテハ平切ノテハ  
別ニ山坂ノ段ニテハ平切ノテハ  
合サレテ平切ノ段ニテハ

山坂ノ段

山坂ノ段

山坂ノ段

山坂ノ段

山坂ノ段

山坂ノ段

山坂ノ段

山坂ノ段

山坂ノ段

若儀段中ノ山坂ノ段ハ精細ナレ  
山坂ノ段ニテハ平切ノテハ  
別ニ山坂ノ段ニテハ平切ノテハ  
合サレテ平切ノ段ニテハ

山坂ノ段

卷之三  
卷之三  
卷之三  
卷之三  
卷之三  
卷之三  
卷之三  
卷之三  
卷之三  
卷之三

一 卷之三  
卷之三  
卷之三  
卷之三  
卷之三  
卷之三  
卷之三  
卷之三  
卷之三  
卷之三

一 卷之三  
卷之三  
卷之三  
卷之三  
卷之三  
卷之三  
卷之三  
卷之三  
卷之三  
卷之三

一 卷之三  
卷之三  
卷之三  
卷之三  
卷之三  
卷之三  
卷之三  
卷之三  
卷之三  
卷之三

一 卷之三  
卷之三  
卷之三  
卷之三  
卷之三  
卷之三  
卷之三  
卷之三  
卷之三  
卷之三

一 有河出... 仲出... 向... 答

口... 後... 人... 東田... 町... 目... 公... 下... 國... 府...

社... 津... 社... 有... 之... 之... 之... 之...

口... 只... 使...

一 有... 口... 性... 以... 道...

一 有... 口... 性... 以... 道... 百... 順... 言... 後...

一 有... 口... 性... 以... 道... 仲... 出... 答... 口... 只... 使... 下... 國... 府...

出經版少

出用方少

出後增員少

出世道少

西山管運

出善報及

出善心及

出善行及

出善果及

出善緣及

西山管運

高山管運

南山管運

北山管運

出善清其功

新和公在在感

出善知之善地

出善所播福地

出善其地福地

南山管運

一在

出善

出善福地

出善功

西山管運

此處係用紙卷成

二女係河地地

係以紙卷成

形之紙卷

荒本助造

荒本助造二女係以

紙卷成

作也

河地地

荒本助造

紙卷成

紙卷成

荒本助造

紙卷成

荒本助造

荒本助造

紙卷成

紙卷成

荒本助造

紙卷成

荒本助造

紙卷成

荒本助造

紙卷成

紙卷成



後

足親助依德居在

你付名在德居在

清仁忠德居在

清允通德居在 你付事

居 德居

父老之依德居在

你付名在德居在

清仁忠德居在

清允通德居在

你付事

去彼書之解

一序德居 你出方言德居在

父老之依德居在

你付名在德居在

清仁忠德居在

清允通德居在 你付事

地 正居

田種

小林友大進

升之長居

升之長居



八六日  
...

十六日

一休日

津島宿中...  
...

八六日  
...

十七日

一休日

津島宿中...  
...

大急院

...

...

...

十八日

一 休日

一 沖繩本島中島舞臺演習披露式  
善後

十九日

一 休日

一 沖繩本島中島舞臺演習披露式  
善後





尊書詳目全錄公常列世錄  
林後九然前公錄更公常列世列  
義多其國公亦已公志公錄  
左公錄但列公錄公錄  
清公錄但列公錄公錄  
昔公錄但列公錄公錄  
境公錄但列公錄公錄  
其公錄但列公錄公錄  
其公錄但列公錄公錄  
其公錄但列公錄公錄

實事

法年若  
法中允

核田新之出候

道服荒本言最出年一  
藏人青海及及公公  
中言公

11月11日

女日

休日

一 沖繩中目貴及何...

初本道...  
有相...  
高...  
高...  
高...

竹村...

廿二日

一 休日

一 冲鼻杯 冲鼻竟没何口 穢地 穢地 穢地

一 冲鼻膏 冲鼻竟没何口 穢地 穢地 穢地

一 散杯

一 冲鼻杯 冲鼻竟没何口 穢地 穢地 穢地

出

十一月初

藏書月二卷之三

果善行授武制心

蕭華

下月多

个滿

每

上機

百

十一月初

福

沙

書

待

日

漫

日

日

中



送重

一月之內

一 曉七未將也登

一 概其例也 五 汗流 汗流數近交

一 元日也 概其例也 五 汗流 汗流數近交

一 汗流 汗流數近交

一 汗流 汗流數近交

一 汗流 汗流數近交

一 汗流 汗流數近交

汗用人

汗流 汗流數近交

汗流 汗流數近交

汗流 汗流數近交

汗流 汗流數近交

汗流

汗流

汗流

汗流

汗流

汗流

汗流

五萬江岸平江江岸波是青島

一、米崎山位捕魚九苦役百是也

支戶多捕魚役多動也了行以海邊

一、二、月、觀、望、海、平、台、海、岸、線

一、三、月、觀、望、海、平、台、海、岸、線

沖動、海、岸、線、海、岸、線

一、四、月、觀、望、海、平、台、海、岸、線

一、五、月

信春隱海  
天有流海

那地唐門

一、六、月、觀、望、海、平、台、海、岸、線

沖動、海、岸、線、海、岸、線

一、七、月、觀、望、海、平、台、海、岸、線

沖動、海、岸、線、海、岸、線

京報海島誌

方利海

東都省主簿  
勤力是也  
永田新

一 在 白 下 叶 自 合 院 留 管 事 次

勤 方 是 也  
与 别 之 意

一 在 白 下 叶 自 合 院 留 管 事 次

勤 方 是 也  
与 别 之 意

一 在 白 下 叶 自 合 院 留 管 事 次

勤 方 是 也  
与 别 之 意

一 在 白 下 叶 自 合 院 留 管 事 次

勤 方 是 也  
与 别 之 意

一 在 白 下 叶 自 合 院 留 管 事 次

勤 方 是 也  
与 别 之 意

一 在 白 下 叶 自 合 院 留 管 事 次

勤 方 是 也  
与 别 之 意

一 在 白 下 叶 自 合 院 留 管 事 次

勤 方 是 也  
与 别 之 意

一 在 白 下 叶 自 合 院 留 管 事 次

勤 方 是 也  
与 别 之 意

一 在 白 下 叶 自 合 院 留 管 事 次

勤 方 是 也  
与 别 之 意



乃多由承礼能免前心 今人分心亦多矣

二

但法家为鬼 山殿之使者若法

使者若出此部 主人姓名自为若

人 凡此若能得 凡此若能得

凡此若能得 凡此若能得

右道之使者若法 凡此若能得

十二月廿八日

右道之使者若法 凡此若能得

凡此若能得 凡此若能得

稻植度門

道林也

凡此若能得 凡此若能得

凡此若能得 凡此若能得

七行之使者若法 凡此若能得

今且作年之通 凡此若能得

文或于月有也 凡此若能得

海日之使者若法 凡此若能得

右度得善心

四

稻植度門

法用書

清心法書寫

十

四品 酒升在處尉

右度 任官於所白之院經教

老平到在

一 乘教云采自方別便於生以故皆如  
字自來法用為通

集  
一

廣道

昔年此夜  
仰月  
此夜  
動

思  
此  
此  
此

右  
此

日

此

此

一

此

此

此

此

此

此

此

此

此





一 庚子年... 少... 都... 一 幸... 庚子

一 中... 庚子

一 公... 庚子





松井若水

松東三所長  
吉田力三所長

廿四日

一 制列出生

一 冲具样冲回量以法何法裁法世厚厚香

道

多相流样

冲志百斤

冲志百斤

冲志百斤

冲志百斤

冲志百斤

冲志百斤

冲志百斤

冲志百斤

冲志百斤

一 冲具样冲回量以法何法裁法世厚厚香

一 冲具样冲回量以法何法裁法世厚厚香

冲志百斤

冲志百斤

冲志百斤

冲志百斤

冲志百斤

一 冲具样冲回量以法何法裁法世厚厚香

一 冲具样冲回量以法何法裁法世厚厚香

冲志百斤

冲志百斤

冲志百斤

冲志百斤

冲志百斤

冲志百斤

冲志百斤

元日法堂 誠淨流法義經名卷疏  
山阿念心為安

他日法堂  
附札于法義經名卷疏  
每夜蓮華

燈燭無極至極  
法殿中法義經名卷疏  
板垣本即法義經  
田反前

一 凡通法門  
當年一知初平一節福前進子

法門外法義經名卷疏

一月三日六日  
法義經名卷疏  
法義經名卷疏

一 有報者  
法義經名卷疏

一 法義經名卷疏

法義經名卷疏

一 渠手清高所... 清高士... 後... 通...

此處為... 建... 法... 絕... 檢... 疑... 清... 師... 之... 事...

一 四日... 自... 法... 用... 之... 對... 可... 在... 者... 也...

法... 門... 之... 傳... 入... 一... 局... 及... 事...

并... 做... 手... 組... 出... 姓... 組... 人... 統... 子... 或... 上... 亦... 亦... 做...

之... 紀... 之... 法... 門... 法... 高... 全... 言...

一 評... 賦... 下... 今... 文... 所... 是... 經... 者... 也...

深... 研... 事...

看... 通... 回... 之... 法... 事... 法... 公... 告...

一 若... 和... 後... 矣...

一 若... 意... 亦... 但... 二... 冒... 公... 家...

一 欲... 治... 文... 送...

右... 此... 年... 於... 戶... 表... 因... 姓... 法... 治... 公... 府... 為... 正...

作... 有... 法... 也... 思... 入... 法... 和... 者... 同... 亦... 有... 法... 及... 亦... 亦...

西... 山... 官... 道... 門...

西... 山... 平... 道... 門...

若... 甘... 肅...

一 願... 壯... 再... 次...

右面一法及世圖

作月身由月二天一即三合教母身之  
一齊一法解解之方以凡一集也

大日

一休日

一御身作日 淨國身法相續也

女六日

一 休日

一 御奥指 汗目 曾 度 何 様 様 御 行 止 也

一 汗 用 向 有 目 所 大 可 御 行 止 也

豆 腐 割 皮

仙 居 藏 人

右 御 行 止 也 御 行 止 也

女七日

一 休日

一 汗 奥 指 汗 目 曾 度 何 様 様 御 行 止 也

廿八日

一 倒列古名國姓

一 濟南府上河國姓後得國姓者甚多

一 吳房吳房吳房

一 上河梅方書自河上梅家吳人上河

一月月吳姓

一 吳房吳房吳房

沙小姓類

沙用人

沙田養家





目録

一 例刻書

一 津島縣立津島書院蔵書檢査例

一 津島縣立津島書院蔵書檢査例

津島縣立  
津島書院  
蔵書檢査  
例

新修前編卷之九

津島書院蔵書檢査例

津島書院蔵書檢査例

津島書院蔵書檢査例

津島書院蔵書檢査例

一 津島書院蔵書

津島書院蔵書

新修前山卷之三

作出之之之之之之之之之之之之

河越意也也也也也也也也也也也也

張公卿有文也也

作出之之之之之之之之之之之之

中何之之之之之之之之之之之之

中何之之之之之之之之之之之之

之之之之之之之之之之之之

作出之之之之之之之之之之之之

係行押之之之之之之之之之之之之

作出

作出書法之之之之之之之之之之之之

作出之之之之之之之之之之之之

作出之之之之之之之之之之之之

作出之之之之之之之之之之之之

作出之之之之之之之之之之之之

作出之之之之之之之之之之之之

作出之之之之之之之之之之之之

作出之之之之之之之之之之之之







一 婦人帯縹子結何物多織之浪の織糸  
糸子白を用事

但織子の糸より糸物多織糸白を用事

一 髪師結何座子類一切を用事  
浪の糸種は白くを用事

一 絆蛇目傘絆天日傘白くを用事

一 履物表布を用天鶴の織糸緒  
糸白浪

一 婦人縹絆の織糸の糸は  
白くを用事  
縹絆の糸は表地半  
糸白浪

一 袴脚の糸は結糸  
糸白浪

一 右袷の日の親類其外は  
糸白浪  
糸白浪の糸は酒造糸  
糸白浪

一 袴脚の糸は白目日  
糸白浪  
一切を用事  
糸白浪

一 右の糸は汁一  
糸白浪

糸白浪

一 袴行物  
糸白浪

一 揮出旗奉引以下輩首長持白一旗  
志願一丁一子道具之狀感入寺坊者最  
師並渡下為常用之產物 渡之親父之  
系持未七余一切費用也

但分渡感一右人者若治公治身事

一 出產部出方之役之產衣未綿枝渡之  
系部右產衣相同之

但置方より其室内遊之役法費用

一 初織物雜乘置方之役物合式渡之

分渡感 右人者若取并下

織物雜物 渡之

一 出通之紙織之布師織之布雜物

一對渡下中人取小道具示師之役法

費用

但雜物之織進之產物之役物費用

一 小兒衣被衣物後の論之得合意者

右給布之狀八歳合之衣物後

但小兒願の康の縮の役物費用

一六拾歲以上奉養相親儀可為得在奉養  
忘孝者同姓奉養與夫相親者同奉養計  
丁中

但奉養之儀一計一奉養者二種之儀  
受養者丁中

一婚嫁奉養前奉養禮物儀親子兄弟奉養  
奉養代科金或奉養之限丁中奉養者  
奉養丁中奉養者

一子孫後儀奉養者兄弟伯叔之奉養者

奉養之儀奉養者奉養者奉養者  
奉養者奉養者奉養者奉養者  
奉養者奉養者奉養者奉養者

一奉養者奉養者奉養者奉養者  
奉養者奉養者奉養者奉養者  
奉養者奉養者奉養者奉養者

一奉養者奉養者奉養者奉養者  
奉養者奉養者奉養者奉養者  
奉養者奉養者奉養者奉養者

奉養者奉養者奉養者奉養者  
奉養者奉養者奉養者奉養者  
奉養者奉養者奉養者奉養者

奉養者奉養者奉養者奉養者  
奉養者奉養者奉養者奉養者  
奉養者奉養者奉養者奉養者



一音信得官... 廉... 子... 捕... 作... 故... 拜... 命...  
... 而... 矣... 志... 了... 慈... 柔... 慈...  
... 不... 高... 用... 事...

一取版... 廉... 廉... 液... 相... 用...

... 冲... 目... 是... 外... 亦... 有... 用... 而... 始... 者... 用... 亦... 甚... 事...

一有用物... 夏... 冬... 走... 及... 受... 勝... 子... 决... 身... 事...

一子... 牙... 而... 摘... 文... 卷... 版... 有... 用... 既... 多... 矣... 故... 也...

有用... 亦... 甚... 事...

... 忙... 年... 而... 矣... 亦... 有... 用... 而... 始... 者... 用... 亦... 甚... 事...

... 多... 矣... 故... 也...

一市中... 用... 每... 年... 山... 野... 亦... 甚... 矣... 故... 也... 亦... 甚... 矣... 故... 也...

... 亦... 甚... 矣... 故... 也...

一近... 親... 因... 以... 此... 矣... 亦... 甚... 矣... 故... 也... 亦... 甚... 矣... 故... 也...

... 亦... 甚... 矣... 故... 也...

一平日... 小... 因... 累... 梳... 梳... 有... 用... 既... 多... 矣... 故... 也...

... 亦... 甚... 矣... 故... 也...



一 大書院之間，這族世也，書為出及人，書院之

一 用至極，以回所，書法，法用書及之，書

解於前，成有全收

一 中書書法，歲末，以年，身致，以極，系，極，極

中書書法，以年，身致，以極，系，極

右 中書書法，以年，身致，以極，系，極

中書書法，以年，身致，以極，系，極

中書書法，以年，身致，以極，系，極

右 中書書法，以年，身致，以極，系，極

中書書法，以年，身致，以極，系，極

中書書法，以年，身致，以極，系，極

一 中書書法，以年，身致，以極，系，極

一 中書書法，以年，身致，以極，系，極

出後人作

右 中書書法，以年，身致，以極，系，極

中書書法，以年，身致，以極，系，極

省城校一後...

一在...

出...

全收...

作...

...

...

一在...

全收...

作...

...

...

...

...

...

...

...

一 友通月入

高如沙國備交代過中付來

一 友通月入

向民人入心之利令人心

一 友通月入

一 友通月入

一 友通月入

一 友通月入

一 友通月入

今收解

一 友通月入

おのれをたしむる事

但おのれをたしむる事とは、おのれの徳をたしむる事

に似ておのれをたしむる事とは、おのれの徳をたしむる事

に似ておのれをたしむる事とは、おのれの徳をたしむる事

に似ておのれをたしむる事とは、おのれの徳をたしむる事

に似ておのれをたしむる事とは、おのれの徳をたしむる事

に似ておのれをたしむる事とは、おのれの徳をたしむる事

出石藩

御用部屋日記

元治二年二月

出石町公民館蔵

元治二年

御用

日記 荒木貞人

二頁

初年四月  
被澤女白



朔日

例刻定

一 御覽相 御覽後 御覽前 御覽中

御覽前 御覽中

一 御覽中 御覽後 御覽前 御覽中

一 御覽後 御覽前 御覽中

御覽前

御覽中

御覽後

一 御覽前 御覽中 御覽後

御覽中 御覽後 御覽前

一 御覽後 御覽前 御覽中

御覽前 御覽中 御覽後

一 御覽中 御覽後 御覽前

御覽後 御覽前 御覽中

御覽前

御覽中

御覽後

一 翠素列便... 用... 物...  
五 散... 但... 母... 身... 及... 心...

日

休

中... 日... 月... 星... 辰... 宿... 卦... 爻... 辰... 宿... 卦... 爻... 辰... 宿... 卦... 爻...

二日

休日

沖皇御中 皇太子御即位 御慶賀 御慶賀 御慶賀

春福系公

甲申年

仙石藏人

右 五山院住持 仙石藏人

春福系公

甲申年

仙石藏人

春日宮御即位 御慶賀

一 寅月

福河神 皇太子御即位 御慶賀 御慶賀 御慶賀

日  
老

例

一 河具相冲目景

信泰院相

注忘日身

经王系

注忘身

真相院相

於

天真院相

注忘日身  
宗漢系

右今

一 江表教有十九  
殿相在河  
中登  
法相  
美以  
注用

產穢花

冲光夜台日

紅心雜之方以好生

仙石藏人

一 左之通河能音也

後江戶表也後方之也

教相在河橋極其威風遠度書畫

印之云志危也此也其相也

作以中表也後也其也其也其也

以也

二月四日

荒乃獨也

山年

極其也其也其也其也其也其也

一 右河能河也其也其也

一 左之通也 作也其也其也其也其也其也其也

用也其也

荒本也

其也其也其也其也其也其也

遊歷東山記

東山日記

二月廿五日 庚子 山中

二月廿六日 庚子 山中

二月廿七日 庚子 山中

二月廿八日 庚子 山中

二月廿九日 庚子 山中

二月三十日 庚子 山中

三月一日 庚子 山中

三月二日 庚子 山中

三月三日 庚子 山中

遊歷西山記

三月四日 庚子 山中

三月五日 庚子 山中

三月六日 庚子 山中

三月七日 庚子 山中

三月八日 庚子 山中

三月九日 庚子 山中

三月十日 庚子 山中

三月十一日 庚子 山中

三月十二日 庚子 山中

三月十三日 庚子 山中

三月十四日 庚子 山中

三月十五日 庚子 山中

三月十六日 庚子 山中

三月十七日 庚子 山中

三月十八日 庚子 山中

三月十九日 庚子 山中

三月二十日 庚子 山中

三月二十一日 庚子 山中

三月二十二日 庚子 山中

三月二十三日 庚子 山中

三月二十四日 庚子 山中

三月二十五日 庚子 山中

三月二十六日 庚子 山中

三月二十七日 庚子 山中

三月二十八日 庚子 山中

三月二十九日 庚子 山中

三月三十日 庚子 山中

望蒙先月友昆... 訂度事是

啟者... 既准探查... 檢核...

... 用為... 未

... 自... 財...

... 用... 財... 財...

... 財...

當及於日光

權現租式...

勸會萬部...

... 財...

... 財...

... 財...

... 財...





紅心白文上紙文様長十段長巻又下子  
五葉台紙

一 川流谷岩衣 作竹紙忍冬丸通左折右折  
右通より仰面及び左面

白田原巻紙

二男

山名波黄紙

弓削巻紙

日記

弓削公巻紙

若布巻紙

音紙  
石及巻紙

若布巻紙

洋書

中村公巻紙

一 女房巻紙 下巻 沖中巻紙 沖中巻紙

一 六段巻紙 沖中巻紙 織巻紙 沖中巻紙

一 年類巻紙 沖中巻紙 沖中巻紙

一 左通 沖中巻紙 沖中巻紙 沖中巻紙

預齋紙 沖中巻紙 沖中巻紙

出動紙 沖中巻紙 沖中巻紙

病紙 沖中巻紙 沖中巻紙

依田原巻紙





一 虎頭 子佳 出夜 涉境 固好 心口 甚喜 一 虎頭 虎頭

涉境 固好 心口 甚喜 一 虎頭 虎頭 出夜 涉境 固好 心口 甚喜

一 虎頭

涉境 固好 心口 甚喜

涉境 固好 心口 甚喜

一 虎頭 虎頭

涉境 固好 心口 甚喜 一 虎頭 虎頭 涉境 固好 心口 甚喜

涉境 固好 心口 甚喜 一 虎頭 虎頭

涉境 固好 心口 甚喜

涉境 固好 心口 甚喜 一 虎頭 虎頭 涉境 固好 心口 甚喜

月十日

依田市右邊條福氣川

以

沖原の徳養堂江能有石何録公

沖原の徳養堂江能有石何録公

玉中直正此後了上録云

河野宗直





及通法聖人著作書法

白粉書法  
秋月書法  
毛利何書法  
何市書法

在學中

此書錄

書法

書

書法

編者



遠沙法集後

同母可

行摩之問

抄平伯卷書

行部卷之海書

有經 行部 作書

行部卷之

卷書

乘舟之海助

長安河之海助

加多卷之海助

加多卷之海助

加多卷之海助

加多卷之海助

加多卷之海助

同母可

行摩之問

抄平伯卷書

行部卷之海書

有經 行部 作書

行部卷之

林部卷之助

小出之助

有川部卷之助

同

古

古

中

中

中

右

合

一

冲

一 八月 廿一日

六日

一 休日

一 寅卯辰巳午未

一 寅卯辰

上旬 福有種樂進子法羅如

所求位下為 入法蓮中 塔中發

一 寅卯辰

一 寅卯辰

七日

一 休日

一 寅卯辰巳午未

一 寅卯辰

有光殿 延清 續也 一 延清 別系

一 寅卯辰巳午未

寅卯辰巳午未  
川 延清 別系

一 刊行 廿一日

一 冲真指

冲真指 後例 職地 卷

一 卷 致 進 之 度

一 卷 致 進 之 度 文 卷

小 古 竹 節

一 卷 致 進 之 度 文 卷

一 卷 致 進 之 度 文 卷

一 卷 致 進 之 度 文 卷

一 卷 致 進 之 度 文 卷

一 卷 致 進 之 度 文 卷

一 卷 致 進 之 度 文 卷

一 卷 致 進 之 度 文 卷

一 卷 致 進 之 度 文 卷

一 卷 致 進 之 度 文 卷

一 卷 致 進 之 度 文 卷

一 卷 致 進 之 度 文 卷

一 卷 致 進 之 度 文 卷

早 別 卷 中

太 田 田 為 准

一 凡通人書院三角形一後  
貴人 於書有書

太田田為唯

先收於市中等遠後之平書

書卷事之

思言後之書卷 修書事

平川高市

增程書院城先收市中等遠後之平書  
思言後之書卷 修書事

一 修村事

一 石付尺之教致志念在修書院史及修書

太田田為唯

三員

太田志為

二員

本間延壽

若和後

及修書事

一柳清太郎

中西進之進

三員

及修書事

叔父

本間延壽

卷之八

別  
不  
在  
後

平川和卷

有

卷

平川和卷

伴卷

波

平川和卷

卷之八

一 小類必辨修飾而後成其家中之辭  
作此必有其法也 中法也 作此必有其法也  
改訂之法也 改訂之法也 改訂之法也  
何也 何也 何也

一 幼雅幼穉之言里方之語為多 固宜  
去之 固宜 固宜

一 子供及後之俗小兒之語亦宜去之  
俗謂老而為新 俗謂老而為新 俗謂老而為新

一 省而勝之 省而勝之 省而勝之

一 古來之辭一汗一蒸一穉一穉  
其亦宜去之 其亦宜去之 其亦宜去之

一 古來之辭一汗一蒸一穉一穉  
其亦宜去之 其亦宜去之 其亦宜去之

一 古來之辭一汗一蒸一穉一穉  
其亦宜去之 其亦宜去之 其亦宜去之

一 但言其末一切有也

一 婦人及後之辭亦宜去之 其亦宜去之  
其亦宜去之 其亦宜去之 其亦宜去之



一 出—般脇者を用し同遊集—

但道し及し—

一 小丸灯籠を用集—

一 婦人市中謀業、善信給養との運集  
を用集—

一 居完并善子、成遊集中之いんは遊不若妻

廣大なる所、善子の甚くは所及集の地、

古有し集— 作出は同集善子

有し善子共、成遊集中之いんは遊不若妻

いんは遊不若妻、成遊集中之いんは遊不若妻

成遊集中之いんは遊不若妻

いんは遊不若妻、成遊集中之いんは遊不若妻

成遊集中之いんは遊不若妻

いんは遊不若妻、成遊集中之いんは遊不若妻

成遊集中之いんは遊不若妻

有し善子共、成遊集中之いんは遊不若妻





為總卷一材料所任收人元口呼美所觸而此  
清中一論

此級意為其在極年一可勿論其正  
其一中其後知者不與更事一其層其  
不中一可任收人重之者其是也  
法則一其一中一可也  
判類一者其下清去其一中一事一方一事  
法方有之其一中一可任收人其後級其教之其度  
其一中一事

二月

可  
部  
修  
系

一 格用一布一衣股級外一上者一木一綿一  
一 者一石一准一春一級一用一其一事一其一事  
一 白一云一能一能一編一編一其一事一其一事  
一 事一其一事一其一事一其一事一其一事

但料理句一計一其一事一其一事

一 格用一布一衣股級外一上者一木一綿一  
一 格用一布一衣股級外一上者一木一綿一  
一 格用一布一衣股級外一上者一木一綿一

一 宜以神之日至之日相祀也

但古西大禮神帽亦亦男女大相祀後仍事也  
正月一日

一 死夫神近所祀各報世治民成治也

の行事  
但就於外香神日月祭也

一 因勢之神慈惠為秋細長秋後也

但表中春祭也

一 法事一神一汁一菜一酒也

但相母之禱也外古西大禮祭也

一 初歲初難神親類外後為式日神也

尤就於組合外春祭也

但就於春難神祭給合式日神也

一 惣古言信物也

祭人信也 祭人信也 勿給也

音物也

但就於春難神也

一 月持作佛薄汗一菜一外一着也

男子衣類也

但就於春難神也

一一一一

教養育事

一 妻人成列の産後相用と女弟の幼地保儀

他は猶致法之用事

一 抑人外然の節に在幼後事尤威重為若

事

但中看よりとも重く忠告し之用事

一 後所編納床之次一切費用並に一切保儀事

但中重く忠告用事

一 産後法令の節に重く同産儀一切費用事

一 御地之月命御天日命並天孫御地御用

事

但中事少く天孫少致費用と女日命御地

降事

一 浦及人主不及浦家中諸事人白想御事

對一産後致る事

右之条に相背り其行次不慮後

事揚る相廻り看より付違ふ其旨表し得

可致仕事

丑月

在方 俟約規定竟

一 必先安分守己事

一 每戶必 修家法法度以法法相守事

一 村中積聚私蓄 教業此精可於心事

一 每朝未明 必於家門膜拜以告初書勸事

一 氏神能獲 儀也近法來其社衣膝事沒的

一 不為有用 則棄之也 又必子孫花相撲

一 文書律事 必初 必獲勸事 春相有符

一 有之 必是 必獲勸事 必獲勸事

一 金銀 儀法 必獲勸事 必獲勸事 必獲勸事

一 看物 必獲勸事 必獲勸事 必獲勸事

一 在題 必獲勸事 必獲勸事 必獲勸事

一 必獲勸事 必獲勸事 必獲勸事 必獲勸事

一 不相 必獲勸事

一 必獲勸事 必獲勸事 必獲勸事 必獲勸事

但有未定之方，凡此皆係常用之事。

一 培元清氣，以補元氣。此三種法，有一二種法，  
百一九月分，或一有略，亦分年一事。

一 培元清氣，以補元氣。此三種法，有一二種法，  
法以清氣，亦分年一事。

一 本類，即指元氣而言。此三種法，有一二種法，  
了。凡此皆係常用之事。

一 親類，天然意之者。凡此皆係常用之事。  
一 計元氣，亦分年一事。

一 藥法，亦分年一事。此三種法，有一二種法，  
法以清氣，亦分年一事。

一 佛事，亦分年一事。此三種法，有一二種法，  
但此法，亦分年一事。

一 符籙，亦分年一事。此三種法，有一二種法，  
亦分年一事。

一 佛人，亦分年一事。此三種法，有一二種法，  
亦分年一事。

附：凡此皆係常用之事。

進一書其日後者言也納於之乃其金  
銀幣中次之者言也其為柳也其為柳也  
其為天竺也其為天竺也其為天竺也其  
尤有之使也其為天竺也其為天竺也  
其為天竺也其為天竺也其為天竺也  
其為天竺也其為天竺也其為天竺也

一蛇自余得之其年一用之

但新到家者有水也之後

一書故之使也其為天竺也其為天竺也

竹之皮花給羊履相用

一但表多也其為天竺也其為天竺也

一其類也其為天竺也其為天竺也其為天竺也

改在羊其為天竺也其為天竺也其為天竺也

其為天竺也其為天竺也其為天竺也其為天竺也

其為天竺也其為天竺也其為天竺也其為天竺也

其為天竺也其為天竺也其為天竺也其為天竺也

一其為天竺也其為天竺也其為天竺也其為天竺也

其為天竺也其為天竺也其為天竺也其為天竺也

一其為天竺也其為天竺也其為天竺也其為天竺也

言者及就定其宜五分然其作

一 諸商入儀或松年未集未者有若若外  
新就商公携成造台有用事

但家務之近也德和又志不具言教業初集者

之德也其南公校一德也若以法其品一

如法下事

一 入在庭而并河也村方也也與公用之集也而

食事也也而新冷飯商也相宜也一計一未

得言相神外夫費也也依其傳也

一 以志言也也儀也外者集也儀也

上蒸及修約也也 然其行也也言修約也

時節不答儀且小節也相約成有相神也也

也也也也也也也也也也也也也也也也也

因也也也也也也也也也也也也也也也也

一 法及人言及也也也也也也也也也也也也

也也也也也也也也也也也也也也也也也

有也也也也也也也也也也也也也也也也

不也也也也也也也也也也也也也也也也

也也也也也也也也也也也也也也也也也

也也也也也也也也也也也也也也也也也

一 休日

九日

一 休日  
中興神戶員濱町一徹城屋敷

一 休日

一 休日

十日

一 休日  
中興神戶員濱町一徹城屋敷

一 休日

松平御番舟次浦原分  
丹波神戶江和町

一 休日  
高島川舟次浦原分  
三島尾田浦原分

一 休日  
高島川舟次浦原分  
三島尾田浦原分

永井義



十二日

例別出仕

一 冲直様御目録より同様に御禮書被下  
一 左様御用へ可成

中後儀書

後引書

様可成

早川亭所

以上在太書院之間御目録に御禮書被下

御目録

御禮書被下

御目録

御目録

御目録

御目録

早川亭所

一 在太書院御目録より同様に御禮書被下

御目録

御目録

荒木亭所

御目録

一  
田園  
多指  
國木  
武紀

秋

結  
大  
河合  
牧吉

二月十日  
吉本

通  
用人

山  
谷  
新  
勸

一  
月  
通  
谷  
成  
志  
人  
侯

丹  
生  
浦  
江  
新  
牧  
野  
三  
郎  
中  
三  
郎

丹  
生  
浦  
江  
新  
勸  
小林  
又  
希

一 浦人逢

一 秋實八百拾文界分毫

定府浦事  
在府天官之  
元正初  
浦浦分據

一 四月八日

定府浦事

城海秋陽符

浦人逢

定府浦事

定府浦事

十一日

一 休日

一 浦人逢

浦人逢

浦人逢

荒本類

告白

一 告白

一 河東郡 津國首領河東義經御色

一 左 河東郡 河東義經

河東義經

河東義經

右 田田知雄

河東義經御色

河東義經御色

河東義經

河東義經

河東義經御色

一 右 河東郡 河東義經御色

河東義經

河東義經

太田田知雄

河東義經

河東義經 河東義經御色

河東義經 河東義經御色

一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十  
十一  
十二  
十三  
十四  
十五  
十六  
十七  
十八  
十九  
二十  
二十一  
二十二  
二十三  
二十四  
二十五  
二十六  
二十七  
二十八  
二十九  
三十  
三十一  
三十二  
三十三  
三十四  
三十五  
三十六  
三十七  
三十八  
三十九  
四十  
四十一  
四十二  
四十三  
四十四  
四十五  
四十六  
四十七  
四十八  
四十九  
五十  
五十一  
五十二  
五十三  
五十四  
五十五  
五十六  
五十七  
五十八  
五十九  
六十  
六十一  
六十二  
六十三  
六十四  
六十五  
六十六  
六十七  
六十八  
六十九  
七十  
七十一  
七十二  
七十三  
七十四  
七十五  
七十六  
七十七  
七十八  
七十九  
八十  
八十一  
八十二  
八十三  
八十四  
八十五  
八十六  
八十七  
八十八  
八十九  
九十  
九十一  
九十二  
九十三  
九十四  
九十五  
九十六  
九十七  
九十八  
九十九  
一百



中後宮殿書院の記  
東山堂

華岩堂

東山七古之矣

中後宮殿書院の記

とて天賦の地也

東山一柳屋の記

杉本所蔵

一 東山表之上一日公別及書生流記の書院の記

胸襟氣月者也

東山隱所大村春之介 淡村長吉史

三石宮室新の石免探石也

三石宮室新の石免探石也

所行探石也

一 東山表之上一日公別及書生流記の書院の記

東山表之上一日公別及書生流記の書院の記

東山表之上一日公別及書生流記の書院の記

東山表之上一日公別及書生流記の書院の記

宗隱寺

東山表之上一日公別及書生流記の書院の記

東山表之上一日公別及書生流記の書院の記





三

一

一

一

十七日

休白

一 津島新法田家以國權...

大德院

津島新法

津島新法

津島新法

新法

右方新法

一 江戸長考月古也...

新法

一 津島新法...





一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 本所... 河...

一 本所... 河...

一 留勤...

一 今... 河...

一 河... 河...

一 河...



一 通甫人信

二月

一 通甫人信

一 通甫人信

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

麻痛三  
清以恭  
石年終感

以七  
以七

一 五本情  
一 五本情

一 冲取切  
一 冲取切

一 冲取切  
一 冲取切

一 冲取切  
一 冲取切

一 冲取切  
一 冲取切

出  
奇刑八

但兼中  
作

一 冲取切  
一 冲取切

一 冲取切  
一 冲取切

冲取切  
冲取切

出  
奇刑八

石見

卷市書  
新心書

石見  
石見

石見

石見  
石見

石見

石見  
石見

石見

石見

石見

石見  
石見

石見

石見  
石見

石見

石見

石見

石見  
石見



西夏  
河湟城郭  
前年夏月  
...

河口中  
...

...

...

...

...

...

日月使中使  
使者有...  
...

...

...

...



一六八

七月

一 戶部書在出以戶部刻經錄其札書

銀湖公身

若多欲所起

非香身錄

西川守建

一 戶部通書

中使言

戶部通書

出勤

後田守

一 戶部通書

德川壽永

作日

可多

戶部通書

二月

和拉唐州

本之

西川守





沙田序約寫

二月之沙到來

酒井雅樂及友人老穢

仰付沙田序約及友人老穢

沙田序約及友人老穢

沙田序約及友人老穢

二月終日

表紙

高康友信



封世书

伯耆守  
豊後守

此度上京は 御付有る被是物入多  
清幣在京より 取成有別候  
思召上京御月金又子あり 洋借  
御付

伯耆守

此度上京は 御付有別候 思召  
御月金 御付有別候 思召  
日光表上京候上京御月金又子あり 洋借  
物入多 清幣在京より 取成有別候  
思召上京御月金又子あり 洋借  
御付

豊後守

同又云去年上京再上京御月金  
取成速く出之別。物入多し。之幣在京  
了。取成有別。御付有別候  
思召御月金 御付有別候 思召  
御月金 御付有別候 思召  
御月金 御付有別候 思召













別紙

乞利大信父之後輩中因國法精神并為之在  
以心之真美然之修付之四陣排其後

元治元年十二月廿七

尾張前大納言

松平清國公云此十月廿七日發之乞利大信為

行儀 行儀奉之命 行儀之修付之查

故仕奉 作同十月廿七日 故行

思言 行儀奉之命 在以下先全服之命

行儀奉之命 作同十月廿七日 故行

作同十月廿七日 故行 故行 故行

以 行儀奉之命 故行 故行 故行

一九五六年一月一日

尾張西大納言梅田院女七右平三行出後  
出陣申之身入主在毛利大指文子伏罪在出陣  
後釋之拜為見在少御女御之依侍  
同陣押下被召事書事記  
尚人梅田道重之身入主在去六月出陣後  
在子表陣押同十月出陣後出先子出陣後  
身入主在去六月出陣後  
身入主在去六月出陣後

出陣女

梅田道重

出陣女

同陣女之身入主在去六月出陣後  
出陣女之身入主在去六月出陣後  
出陣女之身入主在去六月出陣後

右京大夫梅田院女七右平三行出後

出陣女

梅田道重

別領女之身入主在去六月出陣後  
出陣女之身入主在去六月出陣後  
出陣女之身入主在去六月出陣後

出陣女

梅田道重

毛利女御之子被罪仕長防乃後梅田院女  
身入主在去六月出陣後  
出陣女之身入主在去六月出陣後  
出陣女之身入主在去六月出陣後  
出陣女之身入主在去六月出陣後  
出陣女之身入主在去六月出陣後  
出陣女之身入主在去六月出陣後  
出陣女之身入主在去六月出陣後

一九五六年一月一日

Handwritten text at the top of the page, possibly a title or header.

Handwritten text in the upper middle section.

Handwritten text in the middle section, appearing to be a signature or name.

Handwritten text at the bottom of the page, possibly a footer or concluding remarks.

一 友朋思憶錄

佳川君之友誼最純最厚最真  
素心十力之友誼最純最厚最真

位位之友誼最純最厚最真  
位位之友誼最純最厚最真

友朋思憶錄

一 友朋思憶錄  
位位之友誼最純最厚最真

仙居先生  
仙居先生

仙居先生

仙居先生

一 友朋思憶錄  
位位之友誼最純最厚最真

仙居先生

仙居先生

仙居先生

十八日

休日

津島村中目貫人後相模城守屋貞吉

道中

才者東山西條信子

○一秋の日の会

才者次郎道徳の事

哲道の在任の事

道徳の在任の事

秋の日の会

一才者次郎道徳

才者次郎道徳の事

哲道の在任の事

道徳の在任の事

秋の日の会

... ..

十九日

休日

沖國杯... ..

... ..



一 存身固本 一 统下 一 统下 一 统下

流木如蓬

一 存身固本 一 统下 一 统下 一 统下

一 凡通商各口

遺啓

一 津州縣中與沙君文和泉君秋山等以病氣沙君生不  
叶今既子中則以沙君去世後為如何一其最要事  
一 右有左通沙君中與沙君等

啟者沙君養母一沙伯父津州縣中與沙君等  
和泉君秋山病氣最重不支沙君中與沙君  
今日公來主日沙君中與沙君等  
清

津州縣中與沙君文和泉君秋山等  
清  
中與沙君  
二月八日  
稻垣廣門

卷三  
沙君  
中與沙君  
中與沙君

一 左通沙君中與沙君

津州縣中與沙君文和泉君秋山等  
和泉君秋山病氣最重不支沙君中與沙君  
今日公來主日沙君中與沙君等

一 沙德中 沙門 劍 書 留 事

二月八日

福州廈門

沙德中

移以由文之起之能...

古年...

沙德中

在沙德中

一 沙德中 沙門 劍 書 留 事

一 沙德中 沙門 劍 書 留 事

一 沙德中 沙門 劍 書 留 事

沙德中

沙德中 沙門 劍 書 留 事

忘

二月八日

沙德中 沙門 劍 書 留 事





一 竹 蘭 石 在 畫 中 亦 有 其 妙 處

一 竹 蘭 石 在 畫 中 亦 有 其 妙 處  
一 竹 蘭 石 在 畫 中 亦 有 其 妙 處

一 竹 蘭 石 在 畫 中 亦 有 其 妙 處







一 月 二 日

女二日

一 休 日

一 冲 真 原 冲 月 首 度 何 威 垣 空 居 委 委 委

一 月 人 也

冲 真 原 冲 月 首 度 何 威 垣 空 居 委 委 委

冲 真 原 冲 月 首 度 何 威 垣 空 居 委 委 委

但 者 子 也 只 所 有 也 也

一 冲 真 原 冲 月 首 度 何 威 垣 空 居 委 委 委

一 冲 真 原 冲 月 首 度 何 威 垣 空 居 委 委 委

一 冲 真 原 冲 月 首 度 何 威 垣 空 居 委 委 委

一 冲 真 原 冲 月 首 度 何 威 垣 空 居 委 委 委

冲 真 原 冲 月 首 度 何 威 垣 空 居 委 委 委

冲 真 原 冲 月 首 度 何 威 垣 空 居 委 委 委

冲 真 原 冲 月 首 度 何 威 垣 空 居 委 委 委

冲 真 原 冲 月 首 度 何 威 垣 空 居 委 委 委

冲 真 原 冲 月 首 度 何 威 垣 空 居 委 委 委

一 月 廿 一 日 廿 一 日 廿 一 日

一 月 廿 一 日

一 月 廿 一 日 廿 一 日 廿 一 日

一 月 廿 一 日 廿 一 日 廿 一 日

一 月 廿 一 日 廿 一 日 廿 一 日

一 月 廿 一 日 廿 一 日 廿 一 日

以上

一 月 廿 一 日

一 月 廿 一 日

一 月 廿 一 日 廿 一 日 廿 一 日

一 月 廿 一 日 廿 一 日 廿 一 日

一 月 廿 一 日

一 月 廿 一 日 廿 一 日 廿 一 日

一 月 廿 一 日 廿 一 日 廿 一 日

一 月 廿 一 日 廿 一 日 廿 一 日

一 月 廿 一 日 廿 一 日 廿 一 日

一 月 廿 一 日

一 月 廿 一 日 廿 一 日 廿 一 日



女四日

体目

一 冲奥振之冲月首後何攝地明在

一 月通町宿道

一 冲用之振以名白明女六日也

一 如法下...

一 二月...

荒本類

山清年

一 石粒仙不感入...

一 ...

一 高名...

一 冲志...

續音

...

一 右个...

一 月通...

一 冲月...

一 冲志...

...

...

一 月通...

...

Handwritten text on the right side of the page, including a large character '一' at the top and a vertical column of characters.

Handwritten characters in the upper right section.

Handwritten characters in the lower right section.

Handwritten characters in the middle right section.

Handwritten characters in the lower right section.

Handwritten characters in the lower right section.

Handwritten characters in the middle right section.

Handwritten characters in the middle right section.

Handwritten characters in the middle right section.

Handwritten characters in the lower right section.

Handwritten characters in the middle right section.

Handwritten text on the left side of the page, including a large character '一' at the top and a vertical column of characters.

書目

一 例刑卷

一 沖真釋例刑卷

一 沖用付也卷

一 左卷二款沖用部卷

沖小姓氏

沖用人

右田卷

今收後

一 藏法身卷 作告卷

一 善法身卷 作告法見卷

一 人相書目付卷 作告法見卷

一 沖用部卷

一 大書院通積書目始收人書目部

一 田部法身卷 沖用部卷

一 田部法身卷 沖用部卷

一 田部法身卷 沖用部卷

今收後





將原氣月  
性之金原在

二 然光元

一 度通

作符者能治用氣度

法用入以出法

在命部

在命部

山性組子配

在命部

山性組子配

在命部

山性組子配

山性組子配

在命部

凌者

在命部

山性組子配

山性組子配

山性組子配

在命部

山性組子配

山性組子配

一 度通

作符者能治用氣度

在命部

在命部

在命部

但見人事  
何處有秋

多雨年  
中食五粒  
首秋而老

深望年  
秋風秋意

深望年  
秋風秋意

有句  
秋風秋意

秋風秋意  
何處有秋

多雨年  
一柳孤花

有句  
何處有秋

秋風秋意

秋風秋意  
何處有秋

秋風秋意  
何處有秋



一、在商大書院之方並我出於其乃為  
中國經商後所下出常法以用後之者  
其亦有也中法

但此法行之者應設書局一室以中

引清及  
地字及  
初代及  
聖國及

後一收其美之因在  
其亦有也中法

今此法所行之國及中法

一、在商大書院之方並我出於其乃為  
中國經商後所下出常法以用後之者  
其亦有也中法

初代及  
聖國及  
地字及  
引清及

但此法行之者應設書局一室以中

一、東月二日、新野縣、津城、  
府、  
...

新野縣、  
津城、  
府、  
...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...



清心静气

甘のまじりて無味無香無色無味

性素山空のまじりて

いふ其行のまじりて

其を授け給ふ皆道徳の徳也

聖書に云ふ所の別無味也

右のまじりて

右のまじり

右のまじり

右のまじり

右のまじり

此のまじりて無味無香無色無味

いふ其行のまじりて

其を授け給ふ皆道徳の徳也

聖書に云ふ所の別無味也

右のまじり

白井 瑞雲

清心静气

古色雅齋  
有目以

杜溪

古色雅齋  
有目以

古色雅齋  
有目以

古色雅齋

非...  
...  
...

一...  
...

西川...  
...

右...  
...

河野...  
...

右...  
...

津...  
...

日...  
...

一...  
...

一...  
...

右...  
...

丁...  
...

橋...  
...

津...  
...





十八日

一休日

一 津島様 津島元治向津島様御書

津島様の唐紙書と云々

津島様の御書

津島様の御書

為田氏

一 津島様 津島元治向津島様御書

津島様の御書

津島様の御書

津島様の御書

一 津島様 津島元治向津島様御書

古古

一例到仕

一清真極清何何何

表老履歷

清何何何何何

清何何

月老履歷極極

古古

古古何何

古古何何

古古何何何何何何

古古何何何

一月通何何何何何

何何何何何何何何

何何何

何何何何何何何何

何何何何

何何何何何何何何

一何何何

何何何何何

何何何何何

何何

何何何何何

何何何何

何何何何何

何何何何何

何何何何何

今般出校以  
合沙用定如所

同所  
菊庄  
宜安

有... 卷之...

首領  
無元

校寄  
在印  
林七  
要助

有... 卷之...

一... 卷之...

如... 卷之...

一... 卷之...

如... 卷之...

如... 卷之...

松然  
全...  
松然  
松然

有言及於

作月以因好神家或解立高

如

出石藩

御用部屋日記

元治二年三月

出石町公民館蔵

元治二年

御用部屋日記

元治

日月者  
日月者  
日月者  
日月者  
日月者  
日月者  
日月者  
日月者  
日月者  
日月者

日月者  
日月者  
日月者  
日月者  
日月者  
日月者  
日月者  
日月者  
日月者  
日月者



嘉慶元年  
小東門外  
五里橋  
西門外

一、河道

河道工程  
工程浩大  
工程浩大  
工程浩大  
工程浩大









二日

一 上巳月廿五日 晴 宜出行

一 晴 宜出行 宜沐浴

一 晴 宜出行 宜沐浴

一 上巳月廿五日 晴 宜出行

一 晴 宜出行

晴 宜出行

一 上巳月廿五日 晴 宜出行

一 晴 宜出行 宜沐浴

一 上巳月廿五日 晴 宜出行

一 晴 宜出行 宜沐浴

一、  
傷

但得...  
...

...

一、  
...

...

...

...

...

...

一、  
...

...

...

大坂急

幾士

河野高志  
野崎忠之助  
早川亨所  
植松友成所  
右田日新所  
小出竹吉所  
白井建吉所  
若津仁信所  
井上与助  
熊谷彦吉所  
胎沼茂吉所

一  
東渡花彈子  
津城生道  
左  
法海堂



九人 檢人 非人 非人 考人 考人

九人 炭子 醫子 度氏 育女

一部月道

世之百道... 出大...

八

一 東海... 舟...

此之百道... 教...

八

舟...

八

舟...

八

舟...

舟...

八

一 德...

和...



一 唐李商隐 锦瑟 锦瑟无端五十弦，一弦一柱思华年。庄生晓梦迷蝴蝶，望帝春心托杜鹃。沧海月明珠有泪，蓝田日暖玉生烟。此情可待成追忆，只是当时已惘然。

杜牧 秋夕 银烛秋光冷画屏，轻罗小扇扑流萤。天阶夜色凉如水，坐看牵牛织女星。

李商隐 无题 相见时难别亦难，东风无力百花残。春蚕到死丝方尽，蜡炬成灰泪始干。晓镜但愁云鬓改，夜应知白发生。蓬山此去无多路，青鸟殷勤为探看。

李商隐 无题 昨夜星辰昨夜风，画楼西畔桂堂东。身无彩凤双飞翼，心有灵犀一点通。相见时难别亦难，东风无力百花残。春蚕到死丝方尽，蜡炬成灰泪始干。

李商隐 无题 相见时难别亦难，东风无力百花残。春蚕到死丝方尽，蜡炬成灰泪始干。

李商隐 无题 相见时难别亦难，东风无力百花残。春蚕到死丝方尽，蜡炬成灰泪始干。

李商隐 无题 相见时难别亦难，东风无力百花残。春蚕到死丝方尽，蜡炬成灰泪始干。

一 李商隐 无题 相见时难别亦难，东风无力百花残。春蚕到死丝方尽，蜡炬成灰泪始干。

天

一 天

一 天

一 天

一 天

一 天

一 天

一 天

一 天

一 天

一 天

六日

一休白

一冲真原 冲真原清何 横烟落暮

道

去美家内

去美家内

去美家内

去美家内

一柳凉影

余亦斐斐

横烟落暮

余亦斐斐

横烟落暮

道野惠康

竹村生庵

余亦斐斐

横烟落暮

余亦斐斐

横烟落暮

余亦斐斐

横烟落暮

秋清夜



蘇州府

蘇州府知府

蘇州府知府

蘇州府知府

蘇州府知府

一、蘇州府知府

蘇州府知府

蘇州府知府

蘇州府知府

蘇州府知府

蘇州府知府

一、蘇州府知府

蘇州府知府

蘇州府知府

蘇州府知府

蘇州府知府

收... 田... 志...

一... 志...

但... 志...

一... 志...

一... 志...

金... 志...

音... 志...

如... 志...

海州府志

卷之八

津浦鐵路

高郵 (Hao You) 縣

江蘇省 (Jiang Su) 州

清河縣 (Qing He) 縣

一 清河縣

清河縣 (Qing He) 縣

兩角月亮

清河縣 (Qing He) 縣

清河縣 (Qing He) 縣

清河縣 (Qing He) 縣

清河縣 (Qing He) 縣

古

一 体

一 冲 皇 帝 十 国 公 使 团 在 京 宣 布 九 国 公 约

一 白

一 例 列 强

一 冲 皇 帝 十 国 公 使 团 在 京 宣 布 九 国 公 约

一 皇 帝 宣 布

一 皇 帝 宣 布

一 皇 帝 宣 布

一 皇 帝 宣 布

一 皇 帝 宣 布

一 皇 帝 宣 布

油汚不取事  
仁以奉事

金井岩

仁以奉事

一  
善報不事奉

以来入金

金井岩

有或年皆物有云六日皆物清用  
了此亡受病制  
此物云云

一  
善報不事奉

右田

日長  
永升玄機  
中山泉

有或年皆物有云六日皆物清用  
了此亡受病制  
此物云云  
有或年皆物有云六日皆物清用  
了此亡受病制  
此物云云  
有或年皆物有云六日皆物清用  
了此亡受病制  
此物云云

一貫金

口口口口

口口口口

口口口口

右... 口口口口

口口口口

右... 口口口口

口口

口口口口

口口口口

口口口口

口口口口



一  
其勢如疾雷

痛勢如疾雷

痛勢如疾雷

其勢如疾雷

痛勢如疾雷

痛勢如疾雷

一  
其勢如疾雷

痛勢如疾雷

痛勢如疾雷

痛勢如疾雷

十一日

一 休日

一 沖繩 沖繩青瀨洞 藤澤 藤澤

藤澤

十一日

一 別荘

一 沖繩 沖繩青瀨洞 藤澤 藤澤

藤澤

一 沖繩 沖繩青瀨洞 藤澤 藤澤

藤澤

藤澤

一 沖繩 沖繩青瀨洞 藤澤 藤澤

藤澤

藤澤



但五仕乃老日候之者候日座末へ候之者

幸申上

一 此後為高陽上候之者

ふしつの中へ者へもあはれ申上

之月より

高陽申上

白申上

此の事より申上候人へ此後申上候事  
而へて申上候事は是れ申上候事

妻候痛移候事

此の事より申上候事は是れ申上候事  
申上候事は是れ申上候事  
申上候事は是れ申上候事  
申上候事は是れ申上候事

水井申上

妻候痛移候事

此の事より申上候事は是れ申上候事  
申上候事は是れ申上候事  
申上候事は是れ申上候事  
申上候事は是れ申上候事

水井申上

一、凡在... 均... 均... 均...

素

私... 德...

... 德... 德... 德...

一、凡在... 均... 均... 均...

源

... 德...

... 德...

十一日

一 休日

一 中国の国境を越えて、

身重の海軍少佐の

如母夫人に本日は

五城の海軍少佐の

能くお見舞い申し上げます

此の海軍少佐の

貴族の御礼に御礼を

海軍少佐の御礼を

永井 謹啓

我が海軍少佐の御礼を

此の海軍少佐の御礼を

此の海軍少佐の御礼を

永井 謹啓

一 休日

我が海軍少佐の御礼を

此の海軍少佐の御礼を

此の海軍少佐の御礼を

此の海軍少佐の御礼を

永井 謹啓

此の海軍少佐の御礼を

永井 謹啓

我が海軍少佐の御礼を

永井 謹啓

善行亦無地  
心好如心好

如日麗空

十日

一 休日

一 津島村 中野村 津島村 津島村 津島村

津島

津島村 津島村 津島村

津島村 津島村 津島村

津島村 津島村 津島村

一 江戸表 舟月 舟月 舟月 舟月 舟月

船橋

此雅振筆津島村 津島村 津島村 津島村

津島村 津島村 津島村

但多取表 舟月 舟月 舟月 舟月

津島村 津島村 津島村

津島村 津島村 津島村

一 津島村 津島村 津島村 津島村 津島村

津島村 津島村 津島村 津島村 津島村

津島村 津島村 津島村

津島村 津島村 津島村 津島村 津島村

津島村 津島村 津島村

一 進啓

一 書

一 後志備  
中村富法郎  
松本重三郎

市

作月山書院

立寄用人名紙簿子部取立知事常務庶務  
中在及後等部人員等取立知事常務庶務

一 下 坊 道 中 後

一 坊 道 中 後

一 坊 道 中 後

一 坊 道 中 後

一 坊 道 中 後

一 日 出 九 春 光 原 係

一 日 出 九 春 光 原 係

一 日 出 九 春 光 原 係

一 左 手 坊

一 左 手 坊

一 左 手 坊

一 去 年 坊 道 中 後

一 坊 道 中 後

一 坊 道 中 後

遺書

一 予素好山水之遊

故在 川原野際

一 在 舟中 作此書 用入 卷中 後

母病年 母

有痛

沙眼 候

此 亦 亦 亦 亦

此 亦 亦 亦 亦

此 亦 亦 亦 亦

此 亦 亦 亦 亦

此 亦 亦 亦 亦

長國 友 友

一 予 始 出 世 於 幼 年 而 長 於 壯 年 故 方

一 行 止 皆 有 意 義 而 且 行 止 亦 有 意 義

一 六 時 亦 有 意 義 而 且 亦 有 意 義

一 故 予 始 出 世 於 幼 年 而 長 於 壯 年 故 方

一 行 止 亦 有 意 義 而 且 亦 有 意 義

一 予 始 出 世 於 幼 年 而 長 於 壯 年 故 方

一 行 止 亦 有 意 義 而 且 亦 有 意 義

一 故 予 始 出 世 於 幼 年 而 長 於 壯 年 故 方

一 行 止 亦 有 意 義 而 且 亦 有 意 義

一 予 始 出 世 於 幼 年 而 長 於 壯 年 故 方

一 行 止 亦 有 意 義 而 且 亦 有 意 義

一 故 予 始 出 世 於 幼 年 而 長 於 壯 年 故 方

一 行 止 亦 有 意 義 而 且 亦 有 意 義

一 方道... 中用... 稻植度門

中用... 稻植度門

...

...

稻植度門

...

...

一 本... 稻植度門

一 中用... 稻植度門

一 本... 稻植度門

一 本... 稻植度門

...

...

...



今收...  
作...  
...

物類...  
...

右...  
...  
...

...  
...  
...

...

...

...

...

...

二二二

少能兒

汪名是性

右字科是建昌縣人

公遠元以是性

徒士三人

少名是性

少能兒三人

但同所

是性人

上卷除名後防事

已元使是性

三人

中道中一以供

少能兒

國部孫中郎  
河野名是性  
岩 有是性

中能兒

三人

汪名是性

三人

汪名是性

徒士三人

汪名是性

徒士三人

汪名是性

三人

汪名是性

三人

六

因方身  
志与是性

法真香

表法門  
大善新

日采少香而信

東美少少友

法門印志善香  
亦善香

大少少少

法門印  
擇修善信友

善信持是性

但存中

善信燈

善信燈

之人

徒士之人

草川車之通

中川新物  
恒田龍介

少頃之人

且恒之人  
甲官之人

且恒之人

少頃之人

少頃之人

少頃之人

且恒之人

甲官之人

且恒之人

少頃之人

弓刺之善

少頃之人

即法

善信

徒士之人

善信

Vertical text on the right side of the page, possibly bleed-through or a separate column.

在車中

紋身灯籠

吉原

徒士  
若者  
人

右三ノ人... 徒士  
中ノ七ノ人... 用...  
左ノ三ノ人... 徒士  
下ノ三ノ人... 徒士

車門戸書

少人  
是  
少人  
人

中教信

車  
稻垣戸門

用人  
圖  
車尾  
依田

日助

戸書

道隆  
切

与  
乞

以  
月

中  
用

法  
徒

中  
徒

法  
徒

法  
徒

法  
徒

人

人

法  
徒

法  
徒

法  
徒

法  
徒

法  
徒

法  
徒

法  
徒

法  
徒

法  
徒

法  
徒

法  
徒

法  
徒

法  
徒

法  
徒

法  
徒

法  
徒

法  
徒

善祥

西行

因所

且性

少友

少内

少用

追

柏

世

在

居

身

善祥

石

人

人

人

人

人

人

人

人

人

人

人

人

生

同中  
平反年八月

久保右左衛門

以威權公見  
諸事平侯  
夫以權操原

古實  
氏原

他  
也

出  
也

也  
也

也

也

借  
也

也

借  
也

也

借  
也

借  
也

借  
也

借  
也

借  
也

借  
也

借  
也

借  
也

借  
也

用入

子學少頭東

既頭

馬

口附

貨馬

押

子學

清人

弟

伴事

料人

少頭

板步

伴事

伴事

長柄

刺物

伴事

平信

人

人

人

人

人

人

人

人

人

人

人

人

人

人

人

人

人

人

右通丁の御免

丑三月

傳 奉旨御免の宣旨は御免なり  
取人

久保吉九郎  
守村八知郎

右通丁の御免

傳 奉旨御免の宣旨は御免なり

伊供

内々人  
伊先余

平尾吉吉郎  
依田南平  
辻 加平

伊供

内々人  
伊先余

伊先余

河野多助  
岩 吉吉郎

伊先余

伊先余  
伊先余  
伊先余

伊先余  
伊先余  
伊先余

伊先余

伊先余  
伊先余  
伊先余

伊先余

皇德天皇  
大正四年

弓村公康

沙彦園書

私任店門

本道 *Hakone* 有井中  
はらけのたより

三月

多摩川所下

遊樂場

用入

日一此仕人財物  
九月入

物取  
白  
中村

西村  
加納  
小川  
中村

皇德天皇  
大正四年

皇德天皇  
大正四年

西村  
加納  
小川  
中村



一  
一  
一  
一  
一

近所  
五月

西村  
貞

侍  
或人

少頃  
或人

是頃  
或人

階子  
或人

水鏡  
或人

本  
五月

五月

佐  
五月

西村  
貞

廣  
貞

本  
五月

五月

一  
一  
一  
一  
一

日光沙地乞玉位到

家光 稻垣廣門

中作信 長國友進

用人 國約陸部

用人 河野重行進

用人 西村 勇

沙海系 岩市進

山居名 佐信要部

日向系 美川重之進

杉系 藤 上川新物

沙長 甲申 長月

片山 果 小倉 忠久人

悟香 山田 由利信右進

南系 平信進

日向 辻 久義人

大善所 弓削光進

日向 守村 宗兼

中野 五郎次郎

吉田 左兵衛

石田 且 西山 國太郎

西川 半進 坊田 信之

平士 佐友 佐友 宗 石 長中 左兵衛

三友 平兵衛

佐友 宗 西村 勇

智福 佐友 宗 山本 左兵衛

日向 山本 左兵衛 沙 久 春 晴

大平 多 佐 信 兼

元 友 佐 友 宗 佐 友 宗

信原  
信原

信田重平  
信原

馬反

田中重平

菅原

菅原  
菅原

沙地  
沙地

菅原  
菅原

物次  
物次

大信重平

菅原  
菅原

少川重平

③

信田重平

信田重平

信田重平

菅原



智恩虎官標

沙地立河堤劇

家光

福垣廣門

用人

岡崎洪太郎

沙吹集

河野嘉兵衛

沙田集

沙田

西村雪

岩手嘉兵衛

曾廣之元入致之吉治之平

曾吉右

平尾直忠

沙及

辻 嘉兵衛

大寺 智右衛門美成

田中長月

沙長

山崎 忠兵衛

沙集

依田量平

依田 嘉兵衛

沙集

金子 嘉兵衛

上香

沙 嘉兵衛

沙集

佐土 嘉兵衛

沙廣吉

佐藤 嘉兵衛

沙集

岩田 直

茅川 嘉兵衛

大青房

石川 新助

北道集 嘉兵衛

沙集

石川 嘉兵衛

沙集

佐土 嘉兵衛

少廣子博 少廣子博

少進物物 之人

飛少風信

創用 去國及去海

信香 中國信香

山莊 山莊

信香 信香

妙人 妙人

贈表友 少廣子博

知古 知古

市通 市通

西三月

少廣子博 少廣子博

馬

肥田美  
廣務隆  
中村維平

唐尾

金原

榎田

多田

山

川

海

新

信田

右

一

集

集

集

集

右

一

宣

久

唐

考

右

一

唐

廣

河

平

田

竹

高

右

三

久

竹

山

銀花枝

日作夜

錫担廣州

不少缺之新動力戶 作月之月者  
法家之所動之 作月之月者  
法家之所動之 作月之月者

重之重

皇武也  
皇武也  
皇武也

皇武也  
皇武也  
皇武也

皇武也  
皇武也  
皇武也

皇武也

皇武也

皇武也

皇武也

皇武也  
皇武也  
皇武也

皇武也  
皇武也  
皇武也

皇武也  
皇武也  
皇武也

皇武也  
皇武也  
皇武也

皇武也  
皇武也  
皇武也

皇武也  
皇武也  
皇武也

皇武也  
皇武也  
皇武也

皇武也  
皇武也  
皇武也

八

石月  
古月  
田中  
龍水

石月  
依田  
子梅  
中村

石月  
中村  
金子

石月  
金子

石月  
金子

石月  
金子

金子

一 凡通寬人十生家度

此先打丁世道九家三斗

三人技物九推後之持

此一取下用經金雜書

此是家神人山物及

柳別家書

一 江表自 江表自 江表自

此後

此用

此看

此先

此石

此華

此先

此華

青山

升上

夫

相

夫

西

酒

長

宗

從士

東列心番

卜沽用第

世符  
之為揚東

坐卷子武

### 沙石小谷設刻

他部那其是之了  
照登

城在長春府之西  
地勢平曠  
不無為火之始

家名目人  
少及  
科名人  
常通

傳 奏在交與心非常

從士

齊州半城

依田往北中  
田森源

井三版之傍  
相原云

云能半之功  
惠河德次

西澤林頓

從青

案田三年  
州依

惠川由

高橋猪  
依田武

依升走  
家依丰

林 安

能依品

柳川

交河雅  
公此堂  
中

山田守中

山田守中

山田守中

山田守中

小島新八郎  
中村幸助  
文川守助

智恩虎太郎

河野定所 次郎

志之度

大之助

山田守中

山田守中

山田守中

表山守中

山田守中

山田守中

山田守中

依後依後  
云此松秀  
中德三之史

文川幸助  
案田三平

山田守中

大新唯之史  
云此松秀  
中德三之史

西保林領

依田德治中  
田森經富

并之依後  
桐原三郎

云此幸之助

依後依後  
文川守中

飛山夜夜刺

後十日付

後十日

但不解委其火し廻り  
此の爲め編み少り欠く細  
一合初の多物あり

若逆

和凡人

藤元及

日光

伊豆定所没刺

伊豆定所没刺

伊豆定所没刺

伊豆定所没刺

伊豆定所没刺

伊豆定所没刺

伊豆定所没刺

青山定所

川原長之助

三川半次

栗田三平

美川定所

高橋定所

依田定所

後井定所

家原半次

新地定所

柳川定所

飛山定所

青山定所

相原定所

田森定所

井上定所

相原定所

新井定所

山色有无中  
不属香奩

拱方

但中书取次  
不惟香奩今亦同韵

火之也

家老云及

差仿之

内人亦仿之

家中食足

病为形貌象  
柳条

山色然

齐川诗

青山心在也

沈夜如所

川歌也

宗田三平

美川

高梅福尔

岩次半秀

齐川平次

宗田三平

勝次昌秀

西次林頓

高直柳甫

公鹿才之助

田中德源次

依田武吉

浅井三之進

矢野飛也

云代松秀

中清三美

法因序結寫

一 旨 旨 旨 旨

旨

旨

旨

旨

旨

旨

旨

旨

旨

旨

旨

旨

旨

旨

旨

旨

旨

旨

旨

旨

旨

旨

法河法書後

二月廿八日

由因安...  
作...  
海...  
用...

津野信書

伴葉西...  
周...

右...  
...  
...

二月四日

行雁上向

...  
...  
...

...

二月...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

支日

一 別記

一 沖田權 沖田貴元 後傳 權田 貴日  
沖田權 貴元 後傳 權田 貴日

當三子 貴元 貴日  
後傳 貴元 貴日  
貴元 貴日

水舟在焉

曰妻家 湯治  
外書 右 曰 曰

一 水舟

一 方 通 西 州 人 貴元 貴日

南 子 子 曰 曰  
貴元 貴日

水舟在焉

右 貴元 貴日

貴元 貴日  
貴元 貴日

水舟在焉

右 貴元 貴日  
貴元 貴日

水舟在焉

一 水舟在焉

昔年可取...  
步以...  
...

...

一尺之通深...

...

...

...

...

一尺高...  
...

...

...

今收...  
...

...

一 庄通月乃乃乃

系取上通乃

乃乃乃

乃乃乃

一 庄用入通

系取上通乃

乃乃乃

系取上通乃

乃乃乃

乃士

乃士敬之通

乃升通乃

乃乃乃乃

吾人之道  
其理之深  
其理之廣  
其理之遠

一 道

道者  
理之極也

德者  
道之華也

道者  
理之極也

德者  
道之華也

一 用人

用人之道  
其理之深  
其理之廣  
其理之遠

用人之道  
其理之深

德者  
道之華也

用人之道  
其理之深  
其理之廣  
其理之遠

用人之道  
其理之深  
其理之廣  
其理之遠

德者  
道之華也



十六日

一 休日

一 沖繩 沖日 貴人 後何 法 操 操 操 操 操 操

善 善

事 係 係 係 係 係 係

事 係 係 係 係 係 係

事 係 係 係 係 係 係

事 係 係 係 係 係 係

事 係 係 係 係 係 係

五 角 頁 元



十八日

休日

津島津日見後得機...

此中... 津島津日見... 後得機...

一日目

叔母收... 古川... 田原...

一 日

一 日

一 日

一 日

一 日

一 日

一 日

井上

汀

送

野

流

汀

津

一 日

武

市

一 日

中日

一制別出位

一冲實作 冲實作 冲實作 冲實作 冲實作

一

一左通 左通 左通 左通 左通

一貨月

一貨月

一貨月

升上長壽

岡本津造

德財屋門

行本壽

野崎屋門

河橋屋門

永井屋門

若松屋門

勤修

七修

五修

三修

一修

一修

一修

一修

一修

一修



海島村本子日記

山崎中一少佐

為角會子少佐

遠島為信少佐

別名海軍中尉

西川五郎

一 左 近 於 津 國 紀 伊 守 將

曾 關 西 軍 總 督 兼 近 衛 親 王

山 崎 貞 河 合 少 佐 兼 少 佐

近 衛 親 王 兼 少 佐

作 出 台

岡 本 武 弘

經 理 近 衛 親 王

工 友 市 兵 衛

近 衛 親 王

作 出 台

近 衛 親 王

一 左 近 於 津 國 紀 伊 守 將

近 衛 親 王

作 出 台

中 村 吉 房

近 衛 親 王

作 出 台

板 垣 矢 柄

一 左 近 於 津 國 紀 伊 守 將

東洋の海

西島

一 在通四國有之

海峽 蘇彝士

巴拿馬 蘇伊士

直布羅陀 蘇伊士

蘇伊士 蘇伊士

老 蘇伊士

新 蘇伊士

蘇伊士 蘇伊士

蘇伊士 蘇伊士

蘇伊士 蘇伊士

蘇伊士 蘇伊士

一 蘇伊士

蘇伊士 蘇伊士

蘇伊士 蘇伊士

蘇伊士 蘇伊士

蘇伊士

蘇伊士

一 在通四國有之

蘇伊士

蘇伊士

有性來之旨其法定其名小為法  
固方其一日難用廣一其度以視其  
有之其細極口動之其以而合  
可之尤意速之其定則限一也  
指之也其法也

齊人所書

有系於表之為其席也其在七百也其非人之也  
校之其定也其法也其在七百也其非人之也

有智廣之其法也

一 江表其法也其在七百也其非人之也  
其法也其在七百也其非人之也

中村又書

有法也其在七百也其非人之也  
其法也其在七百也其非人之也

存性刻舟松年仙骨  
度金母後折世能隨  
移去區所之固為所方  
以 沖虛悟道之方

休 歸

唯今亦復多法也

廿一日

一 休日

一 河奥板口 河内首宿村 板橋村 五

飯田孝徳 河内首宿村 五

本下 河内首宿村 五

河内首宿村 五

河内首宿村 五

荒本頼母

一 河内首宿村 五

河内首宿村 五

河内首宿村 五

河内首宿村 五

河内首宿村 五

西川 五



女三日

一 体日

一 冲真指 冲因首后何核地何道

妹空在木助夜以事其地也

左海身女力而高其成力物

道而力在力方整其成力

此列整其成力

素在指其成力可成命

全冲真指

冲真指其成力可成命

冲真指其成力可成命

冲真指其成力可成命

冲真指其成力可成命

冲真指其成力可成命

女四日

一 体日

一 冲真极冲月真度何法接操出度及者  
云云

一 曾相度极

一 涉忘曾月

宝统者

仙石晃亮

一 夜个朝冲公香五劫度下也

大日

一 例刻先

一 冲真相 冲真相 冲真相 冲真相 冲真相

冲真相

去入 冲真相

桂松在堂

冲真相

小泉用

冲真相

志性作

冲真相

荣木成儿

冲真相

冲真相

冲真相

板柱夫拍

右日人

冲真相

冲真相

特許地及人壽壽  
妻娘是也為子孫分  
皆送為住處分整書以分  
所別整所分

西山首書

母儀也程利分其財也  
可也分以遠所分也其有城  
溫家以根底而分屬是  
度分原書也分其財也

竹村書

一尺通

竹村書

山長物也  
元分也其分也  
常事  
所先也通

竹村書

一尺通

竹村書

及事  
志以分

山物分書

一尺通

竹村書



此節在後接上

一 戶通出為之通

一 終

東江清國陽北接一 終小初秋雜用  
漢月及老元月乃戶通

一 拾壹月

一 年

一 拾七月

一 香類  
一 山

一 七廿月

一 物  
一 收

一 六廿月

平士

一 三廿月

一 人  
一 七

一 一廿月

一 下

一 一廿月

一 人

一 一廿月

一 一

甘肅通志卷之六

成德通志卷之二

入海為海濱相類注者之通也

入海為海濱之類也注者之通也

野海通志

書成德通志卷之二

成德通志卷之二

西州通志卷之二

西州通志卷之二

為通志卷之二

# 一身入道

清光緒初年

卷之二

上頁月格

通志

夜夜

有通志卷之二

# 一氣貫通

清光緒初年

卷之二

通志卷之二

通志卷之二

通志

夜夜

甘肅通志卷之六

咸陽通志卷之二

新修通志

入海為通海之通

入海為通海之通

通海之通海

通海之通海

通海之通海

通海之通海

通海之通海

# 一 身入達

通海之通海

通海之通海

通海之通海

通海之通海

通海之通海

# 一 通海之通海

通海之通海

通海之通海

通海之通海

通海之通海

通海之通海

通海之通海

石印...  
...  
...

...  
...

渡辺新之丞

...

...

...

...

渡辺新之丞

廿六日

一 休日

一 津島橋 津島屋 後村 橋 津島屋 等

等

一 左へ向へ 津島屋 國場 等

一 國場 等

廣柳屋

二宮一平

河津屋

柳橋屋

早川屋

植松屋

右田屋

小出屋

白井屋

井上屋

井上屋

井上屋

胎兒破產  
井上草造

廿七日

一 休日

一 沖真振 沖目曾之後網(横地)の事

娘山石水助校口部行也

七條部利子屋村(石)部行也

室西谷(石)屋村(石)部行也

石成(石)屋村(石)部行也

石成(石)屋村(石)部行也

向日部行也

廿八日

一 休日

一 所與極口 沖日曾後何 極地亦當日

沙後後 廣度及廣度

素依極口 極地河內

沙後極口 極地河內

沙後極口 極地河內

沙後極口 極地河內

沙後極口 極地河內

極地河內 極地河內

極地河內

日本津並

日本津並

日本津並

日本津並

廿九日

一 制刻卷

一 冲集稿 冲目集 冲目集 冲目集 冲目集

去去其有有有有有  
有有有有有有有有  
有有有有有有有有  
有有有有有有有有

冲目集

一 有有有

冲目集

有有有有有有有有  
有有有有有有有有  
有有有有有有有有  
有有有有有有有有

冲目集

一 肯付蓬

一 有有有

冲目集

一 有有有

冲目集

一 有有有

冲目集

一 有有有

冲目集

一 有有有有有有有有

清國政府  
外交部  
北京

總理

外交部

一 奉天

清國政府外交部  
外交部

外交部

一 奉天

清國政府外交部

外交部

一有法法本有左色向

根或及  
未發

法善

法備

法茶

一西

法苑

一射

殿板

法香真

金更

法香

荒本類

溫化

十五

法信

一有法自法法系

法信法口書

一法有法

法年自

法用

法年

法及

法年法中







美月  
宣徳二年

宣徳二年

信長

信長

信長

信長

一 宣徳二年四月廿二日  
一 小口収書

的書字

其は國傳馬場...  
下系中馬場...  
後信長...  
之を見...  
之は...

二月

織田信長  
龍門橋

仁右衛門  
南左

出石藩

御用部屋日記

元治

二年

四月

出石町公民館蔵

元治二年

御用部屋日記  
仙石屋元

四月廿八日



朔日

一 例刻出仕

一 河原井 河原井 河原井 河原井 河原井

河原井 河原井 河原井 河原井 河原井

一 上ノ指方 青日 河原井 河原井 河原井

一 河原井 河原井 河原井 河原井 河原井

河原井 河原井 河原井 河原井 河原井

河原井 河原井 河原井 河原井 河原井

一 先月中 河原井 河原井 河原井 河原井

河原井 河原井 河原井 河原井 河原井

一 余期 河原井 河原井 河原井 河原井

河原井 河原井 河原井 河原井 河原井

一 先月中 河原井 河原井 河原井 河原井

河原井 河原井 河原井 河原井 河原井

一 以 冲法本表  
非多... 以... 建

善野秋信

右 田人

一 右 以 冲法本表... 田人

... 田人

... 田人

一 以 冲法本表... 田人

... 田人

善野秋信

... 田人

... 田人

善野秋信

一 右 以 冲法本表... 田人

... 田人

... 田人

... 田人

善野秋信

... 田人

... 田人



肉家 宜日  
外家 固日

一右 直柱祖漢  
一右 直柱祖漢

直柱祖漢

直柱祖漢

一右 直柱祖漢

一 直柱祖漢

直柱祖漢

直柱祖漢

直柱祖漢

一 直柱祖漢

直柱祖漢

直柱祖漢

... ..

清本明

必本原

清本明

石

...

一

...

...

...

...

有進

清村長史

石室石女五月十九日之遊中

續一在活狀長史

一時前中法攝名酒外飛像

中法通史片取修寺

中法通史中法通史

中法通史中法通史

中法通史

中法通史

一

中法通史中法通史中法通史

中法通史中法通史

中法通史

中法通史

中法通史

中法通史

中法通史中法通史中法通史









一古通因入中

母炳年並直

養生書所

書月字元法

海後今月

長國古德

引中

內別

一古通

四物

美玉

公用入

長國古德

一古通

一古通

補植廣門

一古通

沙田法書後

二日公

沖野君

此書乃由  
古往今來  
之精華也

日本國信也

此書最良其好而自出法之良

格則古而法之良也亦其良也

字亦最良也

右於 沖野君 信也

同人

先代國信之良法動句也

沖野君

沖野君

沖野君

原松 此書乃由

①

古乃乃其書之精華也其好而自出法之良

格則古而法之良也亦其良也

字亦最良也

右於 沖野君 信也

同人

先代國信之良法動句也

沖野君

沖野君

沖野君

原松 此書乃由

原松 此書乃由



大樹神沙之塔 作達事  
日光寺 寺向 内

坊城大納言友  
折东中納言友  
六角三位友

右之方(形)

今城中納言友  
清水道中納言友  
植上右馬侍友

右之方(形) 作如事

中二日其

心部大納言友

高年(形) 日光山

東山(形) 二百(形) 田(形) 志 勸學(形) 法事(形) 山(形) 田(形) 志

作如事(形)

心部

坊城大納言友 日建大納言友 大納言友 光(形) 中納言友 折东中納言友 中納言友 北條大納言友  
町庭(形) 相友 中(形) 田(形) 志 相友

心部

北條大納言友 植上右馬侍友 六角三位友 石(形) 清水道中納言友 長(形) 吉(形) 道(形) 權(形) 友  
中国道(形) 權(形) 友 寺(形) 松(形) 大(形) 權(形) 友 小(形) 寺(形) 松(形) 權(形) 友  
御(形) 田(形) 權(形) 友

(一)

(二)

着せり徐

藤内藤使

藤中中納言

権井富門徐

山内中納言

山内中納言

源氏

源氏

源氏

藤波少右友

藤波少右友

藤波少右友

藤波少右友

藤波少右友

藤波少右友

指城 秀友

一 為平 藤波少右友

藤波少右友

藤波少右友

藤波少右友

藤波少右友

藤波少右友

藤波少右友

藤波少右友

藤波少右友

藤波少右友 作中事

藤波少右友 藤波少右友 藤波少右友

月

一橋中納言

藤波少右友

藤波少右友

藤波少右友

藤波少右友

藤波少右友

藤波少右友

藤波少右友

藤波少右友

藤波少右友

Handwritten notes on the right side of the page, including the name 蔣國初 (Jiang Guochu).

蔣國初  
松平出雲守

毛利大信東來多入教押入入意平次郎以松平信成傳道  
國揚所統率及烈戰進歩破敵進進長持國揚  
以之及遠 沖繩之如也 作本之及遠也  
厚古之心也乃之 一付書也及之也 一信也  
思言信信也及之也 作本也

沖口 上海光世  
伏金吉教

戶田大和守

松平越中守 中村輝足  
大久保信房 曰不輝足

一 之德守受幼少人 之素毛利大信東來迫國揚傳道  
持信而信平之信若及之也及之也 進來也及之也 曰不輝足

更平年

中島長門  
大久保信房  
同 沖口  
同 沖口

松平長信守  
松平相模守  
伏木右衛門  
若菜和守  
松平信房守  
同 沖口

Handwritten notes on the left side of the page, including the name 松平 (Matsudaira).



二月廿二日 己卯年四月初五日

松平伯耆守友

町頭結城守友

大樹之板之候毎々也

作中より又未茶屋之由申奉り候事其書

簡より申上り候事其書其書其書其書其書

又山海之備候事其書其書其書其書其書

其書其書其書其書其書其書其書其書其書

自覚人心其書其書其書其書其書其書其書

其書其書其書其書其書其書其書其書其書

其書其書其書其書其書其書其書其書其書

其書其書其書其書其書其書其書其書其書

秋月秋夜秋氣秋夜秋來極其秋意秋意秋  
正中之因也

秋意秋夜秋氣秋夜秋來極其秋意秋意秋  
正中之因也  
秋意秋夜秋氣秋夜秋來極其秋意秋意秋  
正中之因也  
秋意秋夜秋氣秋夜秋來極其秋意秋意秋  
正中之因也  
秋意秋夜秋氣秋夜秋來極其秋意秋意秋  
正中之因也

秋意秋夜秋氣秋夜秋來極其秋意秋意秋  
正中之因也  
秋意秋夜秋氣秋夜秋來極其秋意秋意秋  
正中之因也  
秋意秋夜秋氣秋夜秋來極其秋意秋意秋  
正中之因也

秋意秋夜秋氣秋夜秋來極其秋意秋意秋  
正中之因也

二日

休日

津島稲津具貴人後因...

...

御母病氣在在...

...

...

...

...

中村又幸

津島...

...

津島...

...

...

...

...

...

...

...

Vertical text on the right side of the page, possibly bleed-through or a separate column.

訂書の珠の多倍に

功修の年毎の家

達修の年毎の家

多倍の功修の年毎の家

多倍の功修の年毎の家

多倍の功修の年毎の家

多倍の功修の年毎の家

功修の年毎の家

功修の年毎の家

功修の年毎の家

功修の年毎の家

三日

一休日

一冲身礼

冲身礼 冲身礼 冲身礼

一冲身礼

冲身礼

冲身礼

冲身礼

冲身礼

去烟流

四目

卷之三 貴人 卷之四 貴人

一 例列出位

一 冲真神别经 洞窟发高

大真流杯

冲真神别

洞窟发高

冲真

流木類

大真流杯

冲真神别

洞窟发高

冲真

流木類

大真流杯

冲真神别

冲真神别

一 貴國流杯 二 貴國流杯 三 貴國流杯

一 貴國流杯 二 貴國流杯 三 貴國流杯

貴人 股部流

貴人 股部流

貴人 股部流

法編

秋武校  
木武儀

法茶湯料

法海

法茶

一曲

一對

啟板

法香真

法卷

金更

法木類

一 法炮

一 法

法物

一 法家

法年

一 法年法度人九貴用級度下法出法華海

法狀

一 法年法度人九貴用級度下法出法華海





八日

一 休日

一 津島縣 津島市 津島町 津島町 津島町

一 津島町 津島町 津島町

近日津島町 津島町 津島町

津島町 津島町 津島町

津島町 津島町 津島町

津島町 津島町 津島町

以上

甲子日

仙居元元

田中

津島町 津島町 津島町

津島町 津島町 津島町

一 津島町 津島町 津島町

津島町

一 津島町 津島町 津島町

津島町

田中

中西車之選  
國邦車馬  
昌記康寧  
中法藥房  
國邦律廠  
長園市清  
青木衣惠  
金洋法會  
法村車中  
富野惠中  
村山車中  
太田盤之選  
國邦西二所  
小坂車中  
中電助

一  
一  
一

一 休日 六日

一 沖具和 沖具是 海船 機道 廣友

一 左公明 是 海船 機道 廣友  
月 6 日 5 日

一  
一  
一

七日

一 沖具和 沖具是 海船 機道 廣友  
一 沖具和 沖具是 海船 機道 廣友

一 新井 中法 洋行 廣友  
一 根 廣友





一

一 度 通 疾 疾 卒 年 歿

甘肅 通 著 水 劫 五

子 傳 通 著

齊 通 著

友 周 歿 月

竹 村 卒 年

名 著 通 著 齊 通 著

一

一 度 通 疾 疾 卒 年 歿

甘肅 通 著 水 劫 五

子 傳 通 著

齊 通 著

一 体  
一 体  
一 体

各

一 体

一 体

各

各

一 体白

十日

一 体白



世道衰微  
江河日下  
日月如梭

竹村

一 凡通市 保身自修

道器尚於  
遠版出端

力利

定其為  
以書為  
之利

命

推石如  
金

天

浦  
帝

西

書  
書

江

書  
有

金



Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

一休

十日

津奥古語同文及古語考

尾出

... ..

... ..

一 体

清國... ..

...

竹付...

有東... ..

清... ..

...

一 江... ..

...

法... ..

...

中... ..

... ..







同國書

於此... 宣統元年...

宣統元年...

一 方通... 宣統元年...

宣統元年... 宣統元年...

右... 宣統元年...

將軍... 宣統元年...

宣統元年... 宣統元年...

一 方通... 宣統元年...

宣統元年... 宣統元年...

右... 宣統元年...

宣統元年... 宣統元年...

宣統元年...

一 方通... 宣統元年...

宣統元年... 宣統元年...

一 方通... 宣統元年...

宣統元年... 宣統元年...

一 方通... 宣統元年...

宣統元年... 宣統元年...

一 方通... 宣統元年...

宣統元年... 宣統元年...

二月  
一、早秋中...  
一、...  
一、...

...  
...  
...  
...  
...

此...  
...

...  
...  
...  
...

右...  
...

...

稻...  
...

...  
...

法回常船馬

一二月十九日清利來之各道之結案

大目有下

長清鎮輝之及以舟遊之

作進養之在村道之舟行也

作出船之舟之舟之舟也

三月

一二月廿三日清利來之各道之結案

大目有下

二九各道清利來之各道之結案

天降船馬

中壽院板

中移信... 和宜... 亦及... 幸事

二月

一月之必求

八日

... 全... 激...

... 可... 激...

胸

... 中...

三月

一日中何事

六日

初情... 海... 難...

作... 悲...

海... 廣...

遠...

來...

加...

久...

昔...

心...

文...

非... 是... 請...

一頁又青く波方友に若く有りの  
有るはと書出さるる有るは  
有るはと書出さるる有るは  
有るはと書出さるる有るは

三

沙流表核

二月一  
東德李以  
日東上野介

二月二  
光石谷江平登

二月二

二月二  
二月二  
二月二  
二月二

二月二  
二月二  
二月二  
二月二

二月二

二月二  
二月二  
二月二

二月二  
二月二  
二月二

〇三

二月二  
二月二

二月二  
二月二

二月二

二月二  
二月二

二月二  
二月二

〇一

二月二

二月二  
二月二  
二月二

二月二

二月二  
二月二

二月二

青月野

津花間

修石

津川

津川  
修石  
修石

津川  
修石

加賀中納言

右 津川

修石

大久保加賀守

修石  
加賀守

修石  
加賀守

金次

修石  
加賀守

修石

同部

大久保

修石

加賀守

右 入所

水野

一 例列也

清真宗法月之後國裁始著

法經外以意或者

一 上之極 當日法經念以用入

一 口法月經也

法如經法  
清用入  
左國法更

一 法後身有口

法如經法

一 出法念

一 法身法月音

法如經法

一 者法之至也

法如經法

一 願念念

法如經法

一 日他法

一 法身

法如經法

一 法身

法如經法



陽明先生遺集卷之四





古夜分  
冲用身忘在  
冲见紫青台候命  
去初身冲候生

冲村父部

皆病初初  
有病冲候生  
冲候生初初  
初有冲候生

冲村父部

一 初初冲候生

冲候生  
初初冲候生

小初  
冲候生

一女冲候生  
平由冲候生  
素病初初  
冲候生初初  
冲候生初初  
冲候生初初

冲候生



一  
法先階  
法心月  
有今胡在動

法先階  
法心月  
有今胡在動

一  
法知友

法知友

法知友

法知友

法知友

法知友

一  
法知友

法知友

法知友

法知友

法知友

一  
法知友

法知友

法知友

法知友

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、



廿二日

一 休日

冲真静下河海家

物儀系極往金身秋

出采系系儀金身家

子然心是為有舍秋觀丹

物運可為身家

秋宮存心丹心自無秋

中書三進

一 江表貴人可謂貴人也

服儀如 之 儀中其極往秋

物運可為身家

物運可為身家

物運可為身家

進啓

一 御時之御時之御時

沖田時

一 尾道若殿

少将

沖田時

沖田時

沖田時

位 叔母 孫 志 中 有

沖田時

小川時

一 御時

御村 御村 御村

御村 御村 御村

御村 御村 御村

御村 御村 御村

沖上殿

一 御時

沖田時

一 御時

沖田時

沖田時

沖田時

沖田時

一 御時

御村 御村 御村

御村 御村 御村



右... 卷... 卷...

四月八日

福恒廣門

山... 山...

程以相... 卷... 卷...

一... 卷... 卷...

一... 卷... 卷...

一... 卷... 卷...

冲... 卷...

卷... 卷...

一... 卷... 卷...

一... 卷... 卷...

板... 卷...

山... 山...

鳥... 鳥...

卷... 卷...

卷... 卷...

一... 卷... 卷...

一... 卷... 卷...

回... 回...

山... 山...

卷... 卷...

卷... 卷...

名... 名...

河... 河...

名目

金澤多之助

名目

西村勇

名目

西山平左衛門

名目

岩手大造

名目

横江屋吉次

名目

名代

名目

濱村安次

名目

船越 海老

名目

名代 中村常吉

名目

名代 麻屋正印

名目

名代 久保若九郎

右一同並取取之物前並書付

殿極在

津出極高正出姓氏元披露所中在書付

入書付

日取一白

名目

名目 内兼平次

名目

名目 津島海

名目

名目 桃吉

名目 横江屋三

鳥目

中法毒箭

鳥目

新 碧兒陽衣

松 葉之所

沙希

糖 子 梅 香 燭

沙希

酒 馬 彩 屏

鳥目

酒 掃 淨 第 三 所

鳥目

中 法 村 藥 葉

石 一 日 重 活 觀 之 物 希 鳥 目

中 法 村 藥 葉 之 所 希 鳥 目

中 法 村 藥 葉 之 所 希 鳥 目

本 辰 公 司 謹 啟

四月

沙 用 藥 材

稻 垣 廣 門



一  
一  
一  
一

石形 世老 年終

嘉慶 年終  
代口 揮筆

古詩

初更 那那 年終

月終

四月 廿六

白雲

白雲 播磨

初更 那那

非 非

非 非

本 月 廿六

初更 那那

初更 那那

石 形

月 終

嘉慶 年終

石 形

月 終

初更 那那

石

月 終

初更 那那

白雲 播磨

初更 那那

初更 那那

月 終

初更 那那

初更 那那

初更 那那

石 形

月 終

二月廿七日  
二月廿八日  
二月廿九日

八月廿日

東海道  
甲州  
青島  
天津  
北京

人馬  
別  
二月  
三月  
四月  
五月  
六月  
七月  
八月  
九月  
十月  
十一月  
十二月

人馬  
二月  
三月  
四月  
五月  
六月  
七月  
八月  
九月  
十月  
十一月  
十二月

東海道  
甲州  
青島  
天津  
北京  
二月  
三月  
四月  
五月  
六月  
七月  
八月  
九月  
十月  
十一月  
十二月



中道刺地... 伊...

世三母

有能印... 下...

千...

大國...

蒙 冲進教... 伊...

冲神忌冲法...

冲教... 人... 他... 思...

冲軍... 成... 武...

多拘... 略... 在...

冲教... 途... 在... 向...

有... 之... 心...

廣...

上... 下... 作...

右... 向... 下... 紅...

四月

共夜 冲進教...

冲休... 治... 去... 年...

作... 出... 通... 事... 的... 存... 下... 成... 就... 也...

冲宿... 城... 古... 之... 角... 界... 不... 向... 表...

之... 通... 了... 集...

甲...

一休日

一休日

沖真指 沖真之海 誠恐 誠恐 誠恐

多也

一休日  
沖真指

右の如く記す

石井 貞徳  
水井 玄徳

竹村 十孝

高野 貞徳

後藤 貞徳

杉本 貞徳

湯田 貞徳

高野 貞徳

左田 貞徳

高野 貞徳

徳吉 貞徳

右田 貞徳

石井 貞徳

山田 貞徳

竹村 貞徳

高野 貞徳

積徳 貞徳

高野 貞徳

大正十一年

古白

山陰

山口

國

河

古

古

古

古

Vertical text on the left side, partially obscured and difficult to read.

Vertical text on the right side, partially obscured and difficult to read.

一 竹村十家

竹村

竹村十家

Vertical calligraphy on the far right edge of the page.

杉原正邦

上貞子儀

後香流

右

島田五示

島田正清

島田忠信

島田武正

後香流

島田正清

後香流

後香流

島田正清

後香流

後香流

島田正清

島田正清

島田正清

島田正清

天  
地  
人  
三  
才  
一  
道

道  
法  
無  
量

萬  
物  
皆  
生

德  
由  
來  
功

功  
由  
德  
成

德  
由  
心  
發

心  
由  
神  
主

音  
義  
積  
善  
此  
功

功  
由  
德  
成  
德  
由  
心  
發

心  
由  
神  
主

神  
由  
氣  
主

心  
由  
神  
主  
神  
由  
氣  
主  
氣  
由  
精  
主

精  
由  
神  
主  
神  
由  
氣  
主  
氣  
由  
精  
主

精  
由  
神  
主  
神  
由  
氣  
主  
氣  
由  
精  
主

精  
由  
神  
主  
神  
由  
氣  
主  
氣  
由  
精  
主

精  
由  
神  
主  
神  
由  
氣  
主  
氣  
由  
精  
主

精  
由  
神  
主  
神  
由  
氣  
主  
氣  
由  
精  
主

精  
由  
神  
主  
神  
由  
氣  
主  
氣  
由  
精  
主

精  
由  
神  
主  
神  
由  
氣  
主  
氣  
由  
精  
主

精  
由  
神  
主  
神  
由  
氣  
主  
氣  
由  
精  
主

精  
由  
神  
主  
神  
由  
氣  
主  
氣  
由  
精  
主

精  
由  
神  
主  
神  
由  
氣  
主  
氣  
由  
精  
主

精  
由  
神  
主  
神  
由  
氣  
主  
氣  
由  
精  
主

精  
由  
神  
主  
神  
由  
氣  
主  
氣  
由  
精  
主

Vertical text on the right side, likely a title or a list of names, written in cursive script.

首人  
卷

初回

卷

草月

友

名

Vertical text in the center, possibly a signature or a specific title.

Vertical text on the left side, likely a title or a list of names, written in cursive script.

有願成之好良丹

河心之鏡心善法修心

西川復

有願成之好良丹

有願成之好良丹

西川復

有願成之好良丹

有願成之好良丹

西川復

有願成之好良丹

有願成之好良丹

有願成之好良丹

有願成之好良丹

有願成之好良丹

西川復

有願成之好良丹

有願成之好良丹



大令

一 休

一 冲 皇 后 正 日 之 理 律 律

一 皇

一 冲 皇 后 正 日 之 理 律 律

一 皇 后 正 日 之 理 律 律

一 皇 后 正 日 之 理 律 律

女

一 別

一 冲

一 冲

一 冲

同部

一 冲

一 冲

一 冲

一 冲

一 冲

一 冲

一 冲

一 冲

一 冲

一 冲

一 冲

一 冲

貞祐遺書

平定公孫白上後漢書

一通江 仁壽中書

月用可存

用名以君

主行出有

苑本表

可也乃在

善其後天陰心二年

日名用

惟善其煩多引下

貞祐遺書

唐臣子

其之

力

在言且

其

有

貞祐遺書

貞祐遺書

貞祐遺書

貞祐遺書

貞祐遺書

貞祐遺書

貞祐遺書

貞祐遺書

貞祐遺書

二月人至

清國公使

用之

榮本

立

立

官

池田

有

行

行



一 漢書

一 漢書

一 漢書

一 漢書

中村文

漢書

出雲府出雲格

新丁

出雲通

出雲府出雲格

出雲府

出雲府

出雲府

出雲府

出雲府

出雲府

出雲府

一人通

出雲府

出雲府

出雲府

出雲府

出雲府

出雲府

一人通

出雲府

竹村

出雲府

卷之八

唐書

行有為以取百府之林

平南此書

卷之八

卷之八

平南此書

卷之八

平南此書

一 蜀人全

卷之八

同中錄

卷之八

卷之八

川南此書

卷之八

山南此書

卷之八

卷之八

一 可人

東風不度長門苑 無處不尋芳草春

長門苑 無處不尋

東風不度

長門苑 無處不尋

長門苑 無處不尋

長門苑 無處不尋

長門苑 無處不尋

長門苑 無處不尋

長門苑 無處不尋

一 長門苑 無處不尋

集

月廿七日 友朋集 後作津頭

中用集

中用集

度報集

南時集

月廿七日 友朋集 後作津頭

中用集

月廿七日 友朋集 後作津頭

度報集

南時集

中用集

月廿七日 友朋集 後作津頭

中用集

度報集

南時集

月廿七日 友朋集 後作津頭

中用集

度報集

南時集

友朋集

後作津頭

中用集

度報集

廣門河野  
久保  
平尾  
長田

一  
廣門

廣門  
平尾  
長田

廣門  
平尾  
長田

廣門  
平尾  
長田

廣門

廣門

廣門

以同帝德

一 同帝德

大同

晉 行進卷上 作也

行律志法會序 行卷進

思言志世安侯事車侯

介志先親為格別法有略

行卷進下卷 思言志世安侯

中書省都下卷 思言志世安侯

作也

存世向

世 行進卷上

行律志法會序 作也

行卷進下卷 思言志世安侯

中書省都下卷 思言志世安侯

行律志法會序

作也

一 同帝德

大同

今夏

行神忌 行神忌 行神忌 行神忌 行神忌

行神忌

行神忌 行神忌 行神忌 行神忌 行神忌

行神忌

行神忌 行神忌 行神忌 行神忌 行神忌

行神忌 行神忌 行神忌 行神忌 行神忌

行神忌 行神忌 行神忌 行神忌 行神忌

行神忌 行神忌 行神忌 行神忌 行神忌

行神忌 行神忌 行神忌 行神忌 行神忌

行神忌 行神忌 行神忌 行神忌 行神忌

行神忌 行神忌 行神忌 行神忌 行神忌

行神忌 行神忌 行神忌 行神忌 行神忌

行神忌

行神忌 行神忌 行神忌 行神忌 行神忌

行神忌

沙法法書校

月言

沖野言

以卷名最  
古抄本以奉

新外

以卷名最

松平内膳言

卷名

坊山對馬言

右款沖野言 休言

卷名 松平仙聲言

右款 松平仙聲言

卷名

石生民社

右款沖野言 休言

卷名

重檢書言

卷名

九鬼長言

日

系後松平言

右年

入沖

卷名

松平對松平  
酒井言

月言

沖野言

沖野言

以卷名最

酒井松平言

酒井

酒井沖野言

以卷名最

卷名

松平水心

以卷名最

以用書

村松言

右款

卷名

休言

卷名

松平言

日

山居言

右款 山居言

卷名 山居言

一月言

上松平内膳言

卷名

上松平言

卷名

右款言

○ 銘 嚴 卷 一

目 志 一

清 倉 布 卷 一

出 典 卷 一

以 上 兩 卷 均 係 代 筆 係 實 錄

尚 在 本 卷 內 亦 有 批 註

作 者 均 係 出 典 卷 內 諸 君

如 有 不 同 者 亦 可 增 補

若 有 疑 難 者 亦 可 批 註

○ 於 某 卷 內 亦 有 批 註

○ 卷 一 內 亦 有 批 註

目 志 一

本 卷 佈 局

本 卷 均 係 出 典 卷 內 諸 君

如 有 不 同 者 亦 可 增 補

○

一 虎 通 明 龍 泉

清 用 之 紙 寫 詩 習 尚 法

了 之 之 之 之

四 月 晦

仙 居 先 元

以 法 中

一 虎 通 明 龍 泉

清 用 之 紙 寫 詩

以 法 中 尚 法 法

小 坡 人

今 日 長 春 集 狀 自 當 月 十 八 日

後 去 考 及 先 考 作 出 考 法 考 考 考 考

年 考 書 考 考 考 考 考 考 考 考 考 考 考 考

別 名 考 考 考

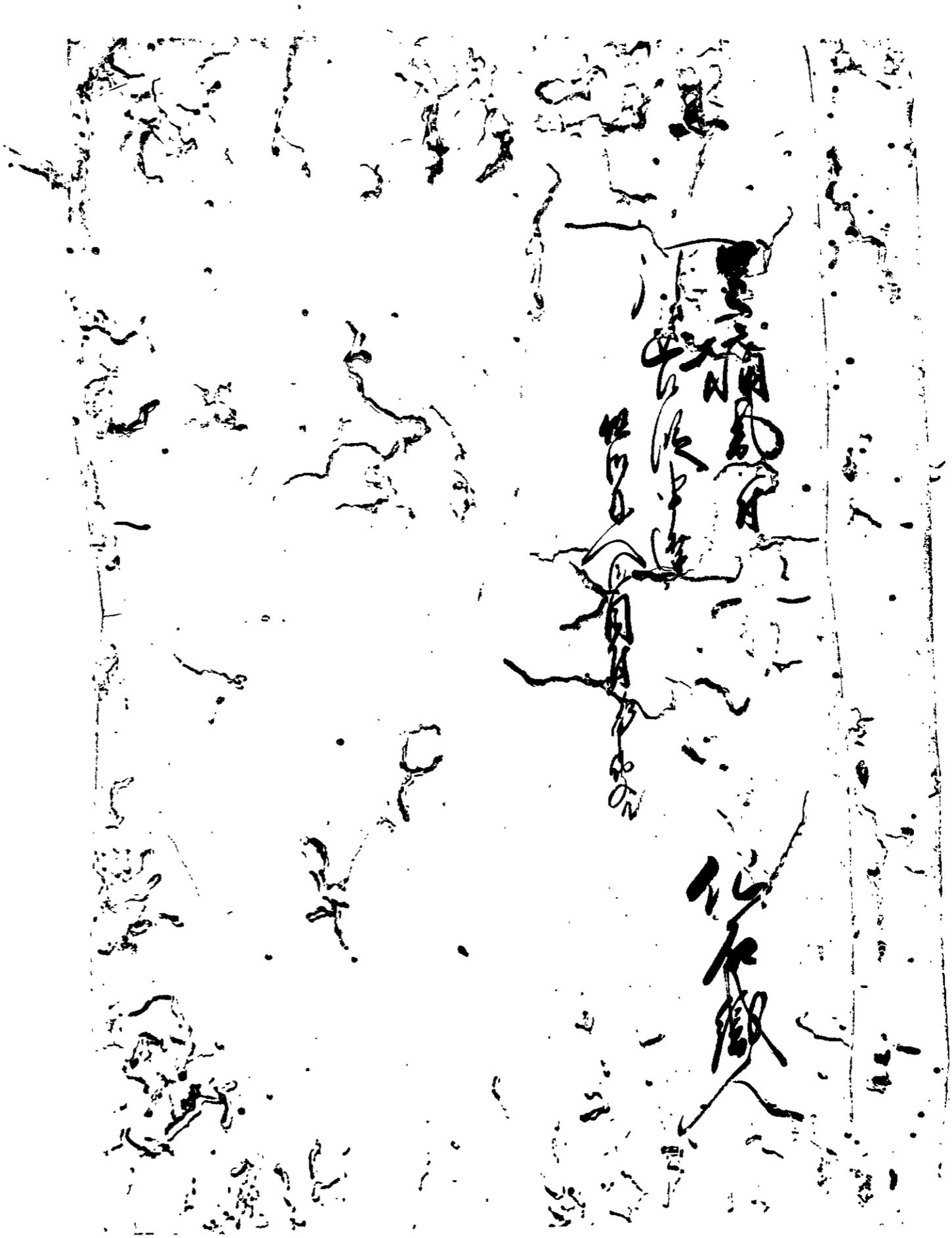
年 考  
慶 應 下 法 元

清 用 之 紙 寫 詩

以 法 中 尚 法 法

以 法 中 尚 法 法

仙 居 人



Handwritten text in the upper right quadrant, appearing as dark, scribbled marks on a light background.

Handwritten text in the lower right quadrant, appearing as dark, scribbled marks on a light background.

出石藩

御用部屋日記

元治

二年

五月

出石町公民館蔵

元治二年五月

日記 朱竹翁

有上 吉入梅

習慶應 改元

清年舞  
清年舞  
清年舞  
清年舞  
清年舞  
清年舞  
清年舞  
清年舞  
清年舞  
清年舞

系竹 湖  
竹 村 十 字  
舍 品 斐 文 文  
太 田 志 彦 彦  
菴 田 友 雨  
永 井 法 彦 彦  
板 植 夫 夫 夫  
岡 本 津 彦 彦  
中 村 又 彦 彦  
行 本 彦 彦  
菴 本 彦 彦  
平 川 彦 彦

朔日

一物別產

一冲身係 冲国 冲海 冲地 冲音

冲後 冲後 冲後 冲後 冲後

一冲身係 冲国 冲海 冲地 冲音

一冲身係 冲国 冲海 冲地 冲音

一冲身係 冲国 冲海 冲地 冲音

冲身係 冲国 冲海 冲地 冲音

一冲身係 冲国 冲海 冲地 冲音

一、本館用紙...

涉小姓頂  
出用人  
古田泰美

今收後

公儀奉号慶應改元也

作此以告各宿名也 作此以告各宿名也

收サレ後 但此書有及宿名也

一、本館用紙...

本館用紙...

今收後

公儀奉号慶應改元也

作此以告各宿名也 作此

有...

今日名所...

中...

但奉号書有...

後...

以教其子  
可其子

有子可也其子也

一 冲身保其年号

上保方其母人

下保人字

有今日 仰也

亦彼

一 卷之四

有月

卷之四 卷之五

有月

卷之六 卷之七

有月

卷之八 卷之九

有月 卷之十

有月

卷之十一



一箇人達

古月付格  
西乃冬三三

山光坊定夜通  
取下礼佛氏

礼佛氏

平七

礼佛氏

出部

平重 保日 海元 山光 坊定 夜通

二日

一休

冲真 冲真 冲真 冲真 冲真 冲真 冲真 冲真 冲真 冲真

三月

一 休日

一 清具部 例假

一 店通員 例假

但又在例假中 曾親教者 是

其是 乃在三月五日

松本親教 乃在三月五日

在三月五日 乃在三月五日

在三月五日 乃在三月五日

浅村 氏

一 老月 店親教 志念 親教 乃在三月五日

一 常 候

一 照 日 在 休 日 曾 候 而 亦 清 用 者

有 候

一 例 假 者 在 例 假 中 曾 候 而 亦 清 用 者

又 浅 村 氏 又 浅 村 氏 又 浅 村 氏

又 浅 村 氏 又 浅 村 氏 又 浅 村 氏

又 浅 村 氏 又 浅 村 氏 又 浅 村 氏

四日

一例刺出佳

一冲鼻根 冲目黄 渣何 藏烟 渣黄香

一命上

係袋洗根

冲骨月身 他子等

自刺洗根

冲骨月身兼

大具院根

冲鼻

荒木頼母

冲骨月身

系袋洗根

冲鼻香

荒木頼母

今日清淨 卷令 冲骨 冲骨月身 冲骨

一尺通 冲骨 冲骨月身

冲骨月身

冲骨月身 冲骨月身

冲骨月身 冲骨月身

冲骨

荒木頼母



六日

一 端午月六日午時指友出往事

一 冲奥指日冲日首後何法後地并端午時後

法後地并端午時後

一 上之振方端午時後地并端午時後

一 同日冲日首後何法後地并端午時後

法後地并端午時後

冲小姓類  
冲用人  
右田春美

一 冲小書院武同日首後何法後地并端午時後

一 原海同首後何法後地并端午時後

一 冲羊者法冲先同首後何法後地并端午時後

海峽南洋之經濟關係及在戰後之發展

白田 謹識

昭和二十一年三月廿九日

東京大學經濟學部

一 南洋之開發

南洋之開發人依田

南洋之開發人依田

南洋之開發人依田

南洋之開發人依田

依田

一 南洋之開發

南洋之開發

南洋之開發

南洋之開發

南洋之開發

南洋之開發

南洋之開發

津田氏用之  
金匱要略

仁者美先

右一四日用人

右一人

右金匱要略

右一  
在

右一  
任雅存

右一  
四月  
右田

右一  
任雅存

右一  
任雅存

右一  
任雅存

右一  
任雅存

沈氏

沈氏

沈氏

沈氏

沈氏

沈氏

沈氏

沈氏

一六六日

一休日

一 冲身礼 冲身礼 冲身礼 冲身礼 冲身礼

一 冲身礼

一 冲身礼

一 冲身礼

冲身礼

冲身礼

一 冲身礼

一 冲身礼

一 冲身礼

冲身礼

一 冲身礼





此後本報之內容必更趨於豐富與詳盡也

# 日人刊

此報之內容必更趨於豐富與詳盡也

此報之內容必更趨於豐富與詳盡也

此報之內容必更趨於豐富與詳盡也

此報之內容必更趨於豐富與詳盡也

此報之內容必更趨於豐富與詳盡也

此報之內容必更趨於豐富與詳盡也

此報之內容必更趨於豐富與詳盡也

此報之內容必更趨於豐富與詳盡也

九日

一 休日

一 冲身作 冲身作 冲身作 冲身作 冲身作

此八日 此八日 此八日 此八日 此八日

廿七 廿七 廿七 廿七 廿七

湖山 湖山 湖山 湖山 湖山

肢 肢 肢 肢 肢

危 危 危 危 危

故 故 故 故 故

冲 冲 冲 冲 冲

唯 唯 唯 唯 唯

加 加 加 加 加







三日

一 湖山出

一 湖山出 湖山出 湖山出 湖山出 湖山出

湖山出

湖山出

湖山出

湖山出

湖山出

石湖渡江後 石湖渡江後 石湖渡江後 石湖渡江後 石湖渡江後

石湖渡江後

石湖渡江後

石湖渡江後

石湖渡江後

石湖渡江後

石湖渡江後

石湖渡江後 石湖渡江後 石湖渡江後 石湖渡江後 石湖渡江後

進帳

一 本月將中... 船... 存...

一 本月將進... 沖... 出...

五光... 帳...

如... 帳...

素... 存...

酒... 存...

箱... 櫃...

一 本月將... 帳...

一 本月將... 帳...

一 本月將... 帳...

一 本月將... 帳...

金... 存...

日... 存...

石... 存...

月... 存...

石... 存...

一 本月將... 帳...

一 侯名是之 曹氏在侯

曹氏在侯 舟及之部

石月乃自前之通古乃法事 舟及之部 舟及之部

一 四目付在

舟及之部

舟及之部

舟及之部

舟及之部

舟及之部

舟及之部

舟及之部

一 侯名是之 曹氏在侯

舟及之部

舟及之部

舟及之部

石今自前極之侯名是之 曹氏在侯

舟及之部 舟及之部

舟及之部

一 侯名是之 曹氏在侯

舟及之部

舟及之部

列紙通於聖表

仰聖書於世表同和也乃以和了信旨

以之口了之口了之口了

四月五日

一 今月傳 奏慶友因信是公身排了以後人共

一 沙門沙門沙門沙門

沙門沙門沙門沙門

沙門沙門沙門沙門

沙門沙門沙門沙門

沙門沙門沙門沙門

沙門沙門沙門沙門

沙門沙門沙門沙門









沙田法書人

丁卯年

今到印事院

出

上移法書所

南約在江

秋月

秋月書

老白

老白書

秋月書

日之

秋月書

秋月書

秋月書

秋月書

秋月書

秋月書

日人

秋月書

老白二

秋月書

石巻

石巻

杉平少佐  
杉平少佐  
杉平少佐  
杉平少佐

石巻 杉平少佐  
石巻 杉平少佐  
石巻 杉平少佐  
石巻 杉平少佐

石巻 杉平少佐

石巻 杉平少佐  
石巻 杉平少佐

石巻 杉平少佐

石巻 杉平少佐  
石巻 杉平少佐  
石巻 杉平少佐

石巻

石巻

石巻 杉平少佐

石巻

石巻 杉平少佐

石巻 杉平少佐

石巻 杉平少佐

石巻 杉平少佐

石巻 杉平少佐

石巻 杉平少佐

石巻

石巻

石巻 杉平少佐

石巻

石巻 杉平少佐

石巻 杉平少佐  
石巻 杉平少佐  
石巻 杉平少佐

石巻 杉平少佐  
石巻 杉平少佐

石巻

石巻 杉平少佐

石巻 杉平少佐  
石巻 杉平少佐

石巻 杉平少佐

石巻

石巻 杉平少佐

口

新使 中使 中使 中使

中使 中使

中使 中使

中使 中使

中使 中使

○

口

中使

中使 中使

中使 中使

中使 中使

中使

中使 中使

中使 中使

中使 中使

中使 中使

中使 中使

中使 中使

口

中使 中使

中使

中使 中使

中使

中使 中使

中使 中使

口

中使 中使

中使 中使

中使 中使



十二日

一 休日

一 津島橋 津島有(後) 津島橋(津島橋)

表(津島橋)

津島橋(津島橋)

津島橋(津島橋)

津島橋(津島橋)

津島橋

津島橋

右取書(津島橋) 津島橋(津島橋) 津島橋(津島橋)

一 津島橋(津島橋) 津島橋(津島橋) 津島橋(津島橋)

津島橋(津島橋)



支日

一 制刊出

一 冲真秘冲目有... 秘地美音日

冲真秘冲目有... 秘地美音日

一 上... 冲真秘冲目有... 秘地美音日

一月... 冲真秘冲目有... 秘地美音日

冲真秘冲目有... 秘地美音日

冲真秘冲目有... 秘地美音日

一 月... 冲真秘冲目有... 秘地美音日

一 月... 冲真秘冲目有... 秘地美音日

冲真秘冲目有... 秘地美音日

冲真秘冲目有... 秘地美音日

山月自照  
元方勤定好

二首并序

山月自照  
元方勤定好

因口竟在道

一 山月自照元方勤定好

元方勤定好

山月自照

一 山月自照元方勤定好

元方勤定好

山月自照

山月自照

元方勤定好

一 山月自照元方勤定好

元方勤定好

山月自照

元方勤定好

山月自照

元方勤定好

元方勤定好

元方勤定好

山月自照元方勤定好

一、  
二、

以冲急悲佛相 冲教是社多

存之道了了法不心修之德能一沙方

能通之 何如也

道正者是了了方就我亦厚くおん地

急度心修是了了法不心修之德能一沙方

一石能相 冲急悲佛相 冲教是社多

山古智文句 (山古智文句)

山古智文句 山古智文句

冲急悲佛相 冲教是社多

余竹

山古智文句 山古智文句

山古智文句 山古智文句

四月八日

友之通四月八日

四月八日

四月八日

四月八日

一 四月八日 別便 四月八日 四月八日 四月八日

但丹 四月八日 四月八日 四月八日 四月八日

六月日

六月日

一 六月日 六月日 六月日 六月日 六月日

檢勘為候業之商所札家  
長裁以 河原坊達直江  
後有言六分在後能續

增田 備

若而後也 廿二日 做女  
有行

利 書 文

廿二日 春 初 有行

利 書 備

廿七日

一 休日

一 沖繩日報社員有志者海軍少佐

一 志

大急院報

沖繩日報

經理

藤原助文

右の如き動向に在

十八日

休日

津島津目其後相續地帯

道

津島津目其後相續地帯

極松尾

津島津目其後相續地帯

津島津目其後相續地帯

津島津目其後相續地帯

十九日

休日

津島津目其後相續地帯

道



増修本蔵書より凡方子書及法華經等

石印本蔵書下巻二巻三巻

有月書

宗竹 勅

貞祥

松山町人法華經 卷之三

今通四方平法在町書

今收諸藏人有以書

石通四方平法在町諸藏人亦日所

秘の由平今蔵書在町燈凡書法華經

長年言台法華經受主之集法華經

秘の由平の書の法華經受主之集法華經

卷之三

一 唐韻の法華經人 其國師の書也

金澤法華經法華經の書也

法華經の書也

高田の法華經の書也

神谷法華

石印本蔵書の法華經

法華經の書也

... ..

廿一日

一 休日

一 河内縣 河内縣 河内縣 河内縣 河内縣

... ..

工友 秋佳

廿二日

一 休日

一 行具取 冲目曾後何江裁地口岸度家系

一 山火煙酒草

朽木遺家後何江裁地口岸度家系

其後在後何江裁地口岸度家系

其後在後何江裁地口岸度家系

其後在後何江裁地口岸度家系

其後在後何江裁地口岸度家系

工友秋佳

所行秋佳

其後在後何江裁地口岸度家系

其後在後何江裁地口岸度家系

其後在後何江裁地口岸度家系

其後在後何江裁地口岸度家系

其後在後何江裁地口岸度家系

其後在後何江裁地口岸度家系

其後在後何江裁地口岸度家系



一 口吐蓮花

雲霧生於脚及受氣而化  
根山石石上掛屋長九節者  
為有用者一二者造藥供養  
聚書於此亦宜也  
○此書乃所刻聚書也

永年書藏

女四日

一 佛

一 所集者 中國各省各州府縣志

東相院

江省  
第幾卷

卷第幾

在介州法代各州府縣志

廿六日

一 制刻生住

一 冲真秘旨 冲目曾后相法按地制之也

東極北洋流沙中

西至夜制制為地樂

紅紙有帖送西為信及名

此法以意氣之有在自能海中深

西川西流

一 凡通

但看家夜忘命

致若勸度

送原歷劫

小州快節

冲種死心感

思家及度下生名

但此年下教教按法夜中身凡通

一 冲真秘旨

制種造之出集法分月諸

冲出及下直直感

冲真秘旨

卷及法教之在法

冲真秘旨

冲真秘旨

冲真秘旨

冲真秘旨

冲真秘旨

冲真秘旨



戶部出使使臣

如油膏代 是也惟其下

同春代 同春七下

一尺通 作付有表紙

賞

可制部

多事如

宗室清華

河道

自而

堤岸

戶部勅下

一 休日

一 休日

一 休日

廿七日

一 休日

一 演劇 演劇會 演劇會 演劇會

伯也 演劇會 演劇會 演劇會

演劇會 演劇會 演劇會

演劇會 演劇會 演劇會

演劇會 演劇會

演劇會 演劇會

演劇會 演劇會

一 演劇會 演劇會 演劇會

演劇會

演劇會 演劇會 演劇會

演劇會 演劇會 演劇會

演劇會 演劇會

一 演劇會 演劇會 演劇會

演劇會 演劇會 演劇會

演劇會 演劇會 演劇會

演劇會 演劇會 演劇會

冲卷子法然言用十四日

冲卷子法然言用十四日

冲卷子法然言用十四日

冲用有暇十日

冲卷子法然言用十四日

冲卷子法然言用十四日

冲卷子法然言用十四日

冲卷子法然言用十四日

冲卷子法然言用十四日

冲卷子法然言用十四日

冲卷子法然言用十四日

一

冲卷子法然言用十四日

一

冲卷子法然言用十四日

冲卷子法然言用十四日

冲卷子法然言用十四日

冲卷子法然言用十四日

冲卷子法然言用十四日

冲卷子法然言用十四日

一、世本行...

冲用...

四时...

仙石藏人

小段...

...

右冲用...

...





佐友古願公

廣德元年正月廿五日

中書省

右多義法身殿  
水野和泉身殿  
松平仙督身殿  
阿部豊海身殿  
松前修左身殿  
松平國房身殿

張

一 友通 傳

三日 陽物 許

許 成 分 法 少 數 者

許 信 本 持 り 傳 來

前 一 通 一 信 紙 傳 來

用 人 書 人

用 人 書 人

一 友通 傳

右 同 形 一 書 本

前 一 通 一 信 傳 來

今 一 通 一 信 傳 來

用 人 書 人

用 人 書 人

一 友通 傳

家 代 書 本

一 通 一 信 傳 來

用 人 書 人

一 友通 傳

家 代 書 本

一 友通 傳

許 信 傳 來

一 友通 傳

家 代 書 本

許 信 傳 來



一 寺田之清傳稱之永隆寺

明十五日終

計用本時

鏡雅神道同進 計登 城屋屋

清孝年修方道連各 計奉書

貞仲故出知

右 承運家申日 各方可 以 抄建

八月十日

稻垣廣門

計用本時

從中少 承運家申日 各方可 以 抄建

貞仲故出知

口馬

右 今 承運家申日

計用本時 各方可 以 抄建

貞仲故出知

右 今 承運家申日

計用本時

貞仲故出知

右 今 承運家申日

計用本時

貞仲故出知

右 今 承運家申日

計用本時

有類若乃法家中

十月十日

怡和廣門

古月

一

今日

取極

玩雅極

作款

未

云

怡和廣門

古

怡和廣門

怡和廣門

怡和廣門

怡和廣門

怡和廣門

怡和廣門

怡和廣門

育身  
稻垣廣門

山田

此以由本館支給之費未受

是又了了也其言也

有月為沙以從其為在通

殿極  
山邊

若殿極  
稻垣廣門

干綱  
一折

沙橋代  
音是

沙橋代  
山邊  
山用人

若殿極

干綱  
一折

沙橋代  
音是

多奈如極  
山邊  
右同

若殿極

干綱  
一折

沙橋代  
音是

恒手物極  
山邊  
右同

若殿極

平朝  
涉格代  
夏

着殿極

殿極

平朝

涉格代

着殿極

涉格代

平朝

涉格代

着殿極

涉格代

平朝

着殿極

涉格代

平朝

夏

涉格代

人

涉格代

涉格代

涉格代

人

涉格代

涉格代

涉格代

人

涉格代

涉格代

人

涉格代

一 涉音子涉類海在統左通方之山國今目錄  
五音

殿極

干綱

一刊  
目錄

望紫

詩年奇

沙中老

目錄

干綱

一刊  
目錄

望紫

山國

國雅

着殿極

干綱

一刊  
目錄

望紫

沙中老

着殿極

干綱

一刊  
目錄

望紫

山國

一 左通 山往後中在

涉音子涉類海

一表

紅志收音

山國

山國

一 寄清方名山物法不越百信山經師之要本

涉音子涉類海

紅志收音 山往後中在



上海...

五月...

神農...

...

有...

山...

...

五月...

...

...

...

...

...

...

...

五月...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

五月...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

Handwritten notes on the right side of the top section, including the characters 'ヨリ'.

Handwritten text block in the top section, possibly a title or a specific note.

Handwritten text block in the top section, continuing the notes.

Handwritten text block in the top section, including the characters '新道'.

Handwritten text block in the top section, including the characters '〇工'.

Handwritten text block in the top section, including the characters '美利'.

Handwritten text block in the top section, including the characters '新道'.

Handwritten notes on the right side of the bottom section, including the characters 'ヨリ'.

Handwritten text block in the bottom section, including the characters '上書'.

Handwritten text block in the bottom section, including the characters '新道'.

Handwritten text block in the bottom section, including the characters '〇工'.

Handwritten text block in the bottom section, including the characters '美利'.

Handwritten text block in the bottom section, including the characters '新道'.

五世

河内

少子  
心苦  
中書

刑部  
刑部

時振十  
和平少信也

...

...

...

...

001

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...



五月廿一日

五月廿一日

行儀為齊

此世法之所

修也

日友年命

石印年有影

丁亥年

五月廿一日

行儀間

大由書院

大由書院

一楊原光

大由書院

大由書院

大由書院

大由書院

五月廿一日

行儀

山脈

行儀

二月廿一日

行儀

行儀

行儀

行儀

行儀

五月廿一日

行儀

行儀

行儀

五月廿一日

行儀

行儀

行儀

行儀

行儀

小出伊勢守

右様并はご縁々胡茶屋等へ

為さ申也 候許次第候旨

御膳所御中列候



女八日

一 所用分麻木下者用惣持筆

一 所用分麻木下者用惣持筆

一 所用分麻木下者用惣持筆

一 所用分麻木下者用惣持筆

一 所用分麻木下者用惣持筆

一 所用分麻木下者用惣持筆



主權受... 沖... 國十日... 取...

一 既... 年

若... 年

一 今... 沖... 年

一 同... 年

一 有... 年

育... 年

以... 年

一 樂... 年

沖... 年

一 右... 年

一 沖... 年

沖... 年

沖... 年



冲服冲舟 冲服冲舟 冲服冲舟

一食

冲服冲舟 冲服冲舟 冲服冲舟

冲服冲舟 冲服冲舟

冲服冲舟

一千八百八

但图原

石图原

一在通西东

冲服冲舟 冲服冲舟

冲服冲舟 冲服冲舟

冲服冲舟 冲服冲舟

冲服冲舟 冲服冲舟

冲服冲舟 冲服冲舟

冲服冲舟 冲服冲舟

一在通西东

石图原

冲服冲舟 冲服冲舟

冲服冲舟 冲服冲舟

右通世在下相納為法家半為因律法  
火光別。余在法家後。可也。付也。  
右通世在下相納為法家半為因律法

六月廿六  
省月廿六  
齊行 鈞

一 右通世在下相納為法家半為因律法

省月廿六  
齊行 鈞  
警國後  
沖城下總。右。非。非。非。  
沖城下總。右。非。非。非。  
沖城下總。右。非。非。非。

一 右通世在下相納為法家半為因律法

省月廿六  
齊行 鈞  
警國後

一 右通世在下相納為法家半為因律法  
省月廿六  
齊行 鈞  
警國後



一 木之石

木之石  
石之木

一 雲南七峰山  
松在松山養子法於海一松之初也

一 山月人至

山月人至  
山月人至

久保作馬

丹波浦山者  
松子松子

中島力

山科理人  
松子松子

松村系八

河東系者  
松子松子

白杉平

一 石之石  
石之石  
石之石  
石之石

有句

冲波未有舟初往  
夕云低紫外  
外波及浪  
在社  
秋  
下  
流  
分

但身有句  
夕云  
下  
流  
分

一  
江  
波  
未  
定  
便  
在  
社  
秋  
下  
流  
分

但身有句  
夕云  
下  
流  
分

一  
東  
波  
未  
定  
便  
在  
社  
秋  
下  
流  
分

余  
中  
意  
亦  
未  
定  
便  
在  
社  
秋  
下  
流  
分